

# 相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)

図面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
(意匠図)		(設備図)	
A-01	タイトル・図面リスト	E-01	特記仕様書
A-02	特記仕様書-1	E-02	現況・改修 電灯1階平面詳細図
A-03	特記仕様書-2		
A-04	特記仕様書-3	M-01	特記仕様書-1
A-05	配置図	M-02	特記仕様書-2
A-06	現況1階平面図	M-03	配置図
A-07	現況・改修断面詳細図	M-04	現況1階平面図
A-08	部分詳細図	M-05	改修1階平面図
A-09	現況・改修1階平面詳細図	M-06	現況・改修1階平面詳細図
A-10	現況展開図	M-07	保温施工標準図
A-11	改修展開図		
A-12	現況・改修建具リスト、現況・改修1階天井伏図		

工事番号・工事名	1相連教449号	S-19708	図面の名称	作成年月日
相楽東部広域連合立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)			タイトル・図面リスト	令和元年5月
株式会社 日匠設計	管理棟監士 窪田 耕一 棟監 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号
大坂本社 大阪府松原市深江1丁目3番12号 一級建築士 198531号 窪田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県東近江市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		1:100	1:200	A-01







Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 'モルタル塗り', 'セルフレベリング材塗り', '仕上げ塗料仕上げ', '種別', '呼び名', '仕上りの形状', '施工箇所・備考', '厚付け仕上塗材', '厚付け仕上塗材', '薄層仕上塗材', '軽量骨材仕上塗材', 'ロックウォール吹付', '下地処理'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '素地ごしらえ', '塗装工事', '2 錆止め塗料塗り', '一般塗料', '4 特殊塗料', '5 既存改修下地調整', '6 DP錆止め', '9 ビニル床シート張①', '1b ビニル床シート張②', '2 ビニル床タイル張り', '3 特殊機能床材', '4 ビニル巾木', '5 カーベツト敷き'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '4 ロックウォール吹付', '5 下地処理', '1 アルミニウム建具', '2 網戸等', '3 鋼製建具', '4 鋼製軽量建具', '5 ステンレス製建具', '6 木製建具', '7 自動ドア開閉装置', '8 自閉式上吊り引戸装置', '9 重量シャッター', '10 軽量シャッター', '11 オーバーヘッドドア', '12 ガラス留め材', '13 建具金物', '14 錠', '17 断熱材打込み工法', '18 断熱材現場発泡工法', '19 グラスウォール', '⑩ ビニル床シート巻き上げ', '⑪ 化粧ボード'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '17 断熱材打込み工法', '18 断熱材現場発泡工法', '19 グラスウォール', '⑩ ビニル床シート巻き上げ', '⑪ 化粧ボード'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '1 アルミニウム建具', '2 網戸等', '3 鋼製建具', '4 鋼製軽量建具', '5 ステンレス製建具', '6 木製建具', '7 自動ドア開閉装置', '8 自閉式上吊り引戸装置', '9 重量シャッター', '10 軽量シャッター', '11 オーバーヘッドドア', '12 ガラス留め材', '13 建具金物', '14 錠', '17 カーテンウォール', '18 カーテンウォール'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '17 カーテンウォール', '18 カーテンウォール'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '1 フリーアクセスフロア', '2 可動間仕切り', '3 移動間仕切り', '4 階段滑り止め', '5 黒板', '6 ホワイトボード', '7 掲示表示', '8 衝突防止等', '10 ブラインド', '11 ロールスクリーン', '12 カーテン', '13 カーテンレール', '14 ブラインドボックス', '15 つくみマット', '16 消火器', '17 造り付け家具', '18 フォンス', '19 トイレブース', '20 ステンレス手摺', '21 ステンレス面台'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '21 排水溝', '22 排水管', '3 排水ます', '21 排水溝', '22 排水管', '3 排水ます', 'ふたの種類', '単層', '複合', '複合'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '21 排水溝', '22 排水管', '3 排水ます', 'ふたの種類', '単層', '複合', '複合'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '1 路床', '2 路盤', '3 アスファルト舗装', '4 コンクリート舗装', '5 カラー舗装', '6 透水性アスファルト舗装', '7 排水性アスファルト舗装', '8 ブロック舗装', '9 路面表示用塗料', '11 縁石等', '12 砂利敷'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '23 植栽工事', '解体工事', '1 解体建物に関する特記事項'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 'アスベスト撤去工事', '1 解体建物に関する特記事項', '2 解体建物(解体する建物内にある備品, 機器類すべてを含む)は特記なき限り, 地盤面下も含め分別解体すること。', '3 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり, その構造強度を低下させた場合は, 受注者の責任において現況に復旧すること。', '4 解体に先立ち, 石綿成分値について, アスベスト含有の有無を確認すること。', '5 アスベスト成形品については, 関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体除去し, 適切に処分すること。'

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 'アスベスト撤去工事', '1 解体建物に関する特記事項', '2 解体建物(解体する建物内にある備品, 機器類すべてを含む)は特記なき限り, 地盤面下も含め分別解体すること。', '3 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり, その構造強度を低下させた場合は, 受注者の責任において現況に復旧すること。', '4 解体に先立ち, 石綿成分値について, アスベスト含有の有無を確認すること。', '5 アスベスト成形品については, 関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体除去し, 適切に処分すること。'

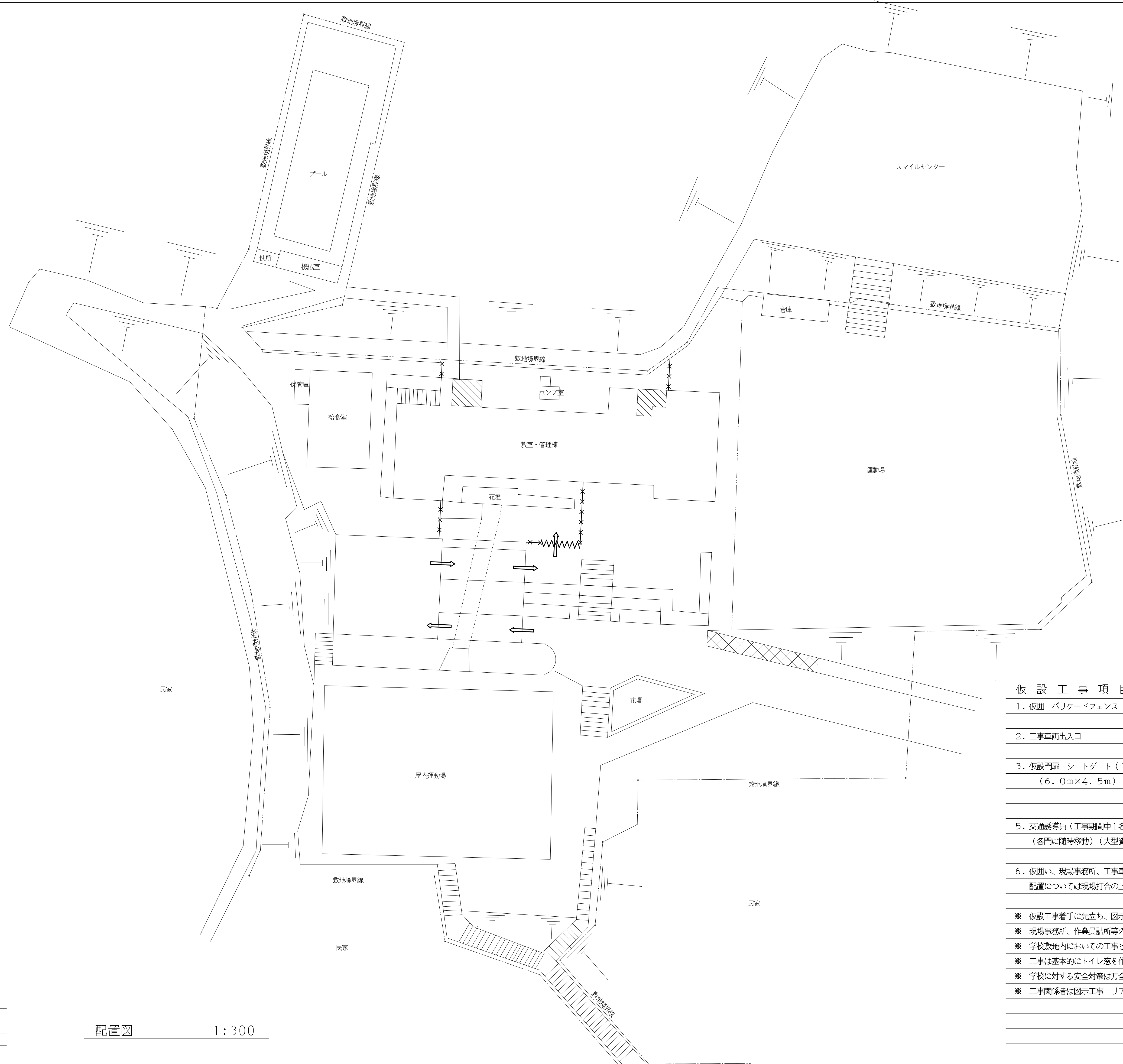
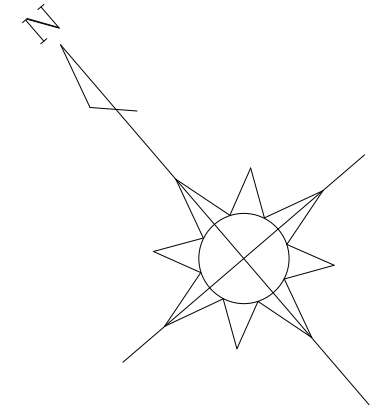
Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like 'アスベスト撤去工事', '1 解体建物に関する特記事項', '2 解体建物(解体する建物内にある備品, 機器類すべてを含む)は特記なき限り, 地盤面下も含め分別解体すること。', '3 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり, その構造強度を低下させた場合は, 受注者の責任において現況に復旧すること。', '4 解体に先立ち, 石綿成分値について, アスベスト含有の有無を確認すること。', '5 アスベスト成形品については, 関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体除去し, 適切に処分すること。'

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '17 カーテンウォール', '18 カーテンウォール'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '工事番号・工事名', '相楽東部広域連立立小中学校トイレ改修工事', '作成年月日', '令和元年5月'.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Includes items like '株式会社 日匠設計', '〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1', 'TEL (072)-331-3857', 'FAX (072)-334-5931'.





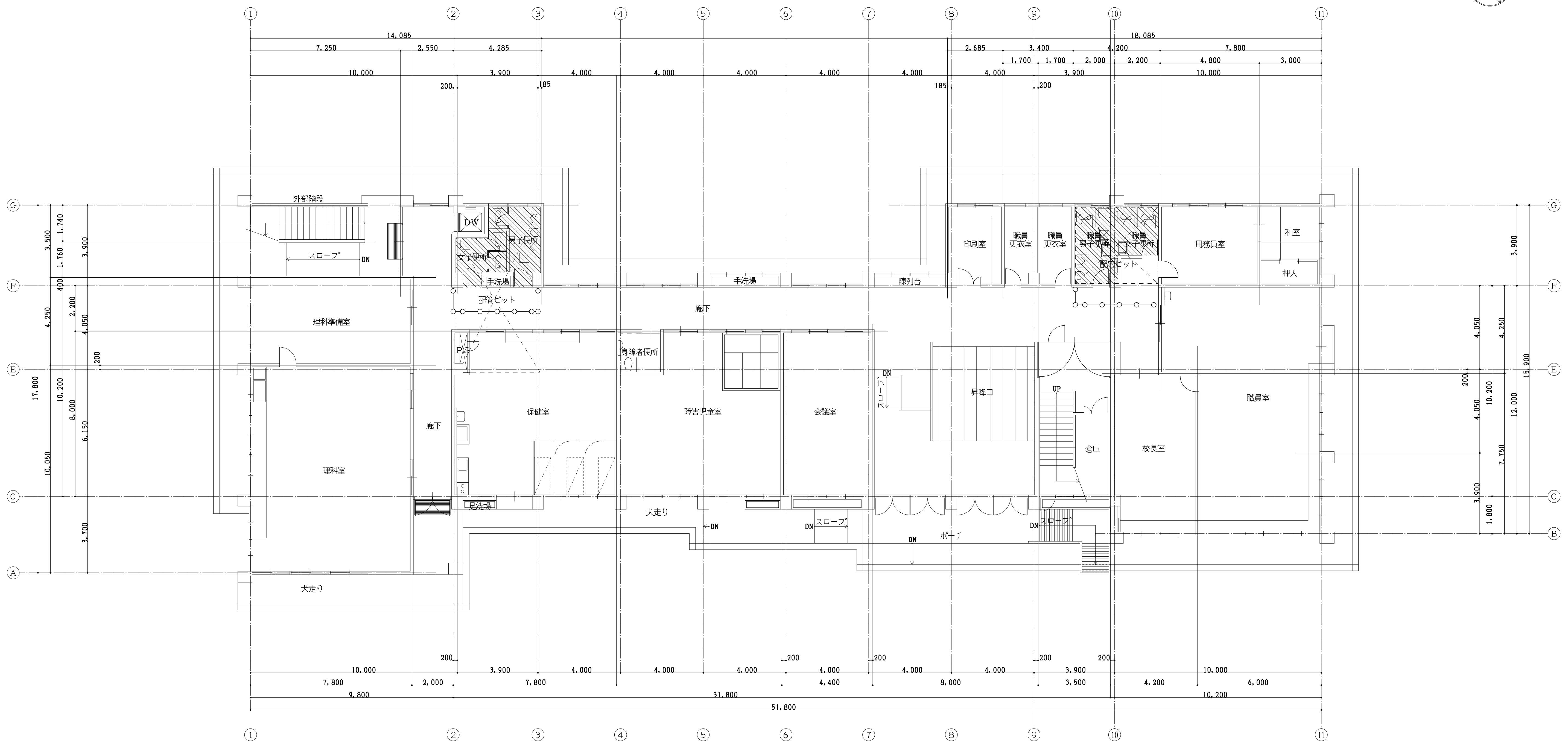
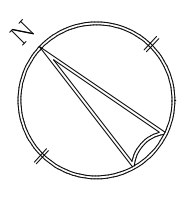
仮設工事項目	[凡例]
1. 仮囲い バリケードフェンス H=1.8 (3ヶ月)	—X—
2. 工事車両出入口	⇨
3. 仮設門扉 シートゲート(1ヶ所) (3ヶ月) (6.0m×4.5m)	WWW
5. 交通誘導員(工事期間中1名常駐)ガードマンボックス共 30人・日以上 (各門に随時移動)(大型資材等の搬入時は増員のとき)	
6. 仮囲い、現場事務所、工事車両駐車スペース等の 配置については現場打合の上、最終決定とする	
※ 仮設工事着手に先立ち、図示計画内容を基本に請負業者にて立案し承諾を得てから着手すること ※ 現場事務所、作業員詰所等の配置、規模は参考とする ※ 学校敷地内においての工事となる為、学校側と綿密に協議しながら工事の進捗を計ること ※ 工事は基本的にトイレ窓を作業動線とすること、但し大型材料等は学校と協議し昇降口等より搬入する ※ 学校に対する安全対策は万全を期すると共に学校行事にも協力すること ※ 工事関係者は図示工事エリア以外の学校敷地内駐車は不可、必要な場合は請負業者にて校外に別に確保すること	

計 記  
 今回工事改修位置を示す

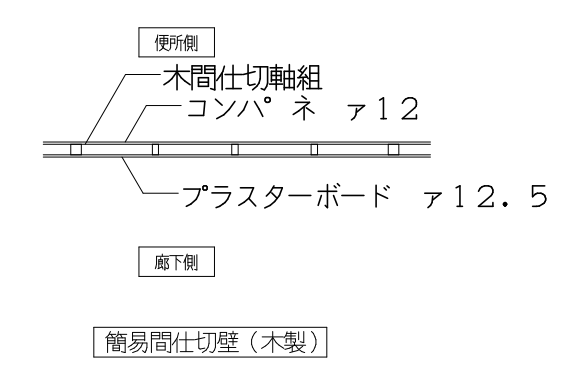
配置図 1:300

国道163号線

工事番号・工事名 1相連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)	S-19708	図面の名称	作成年月日	
		配置図	令和元年5月	
株式会社 日匠設計 大坂本社 大坂府松原市南保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬湖市中央1丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理棟 澤田 耕一 棟 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号
		1:300	1:600	A-05

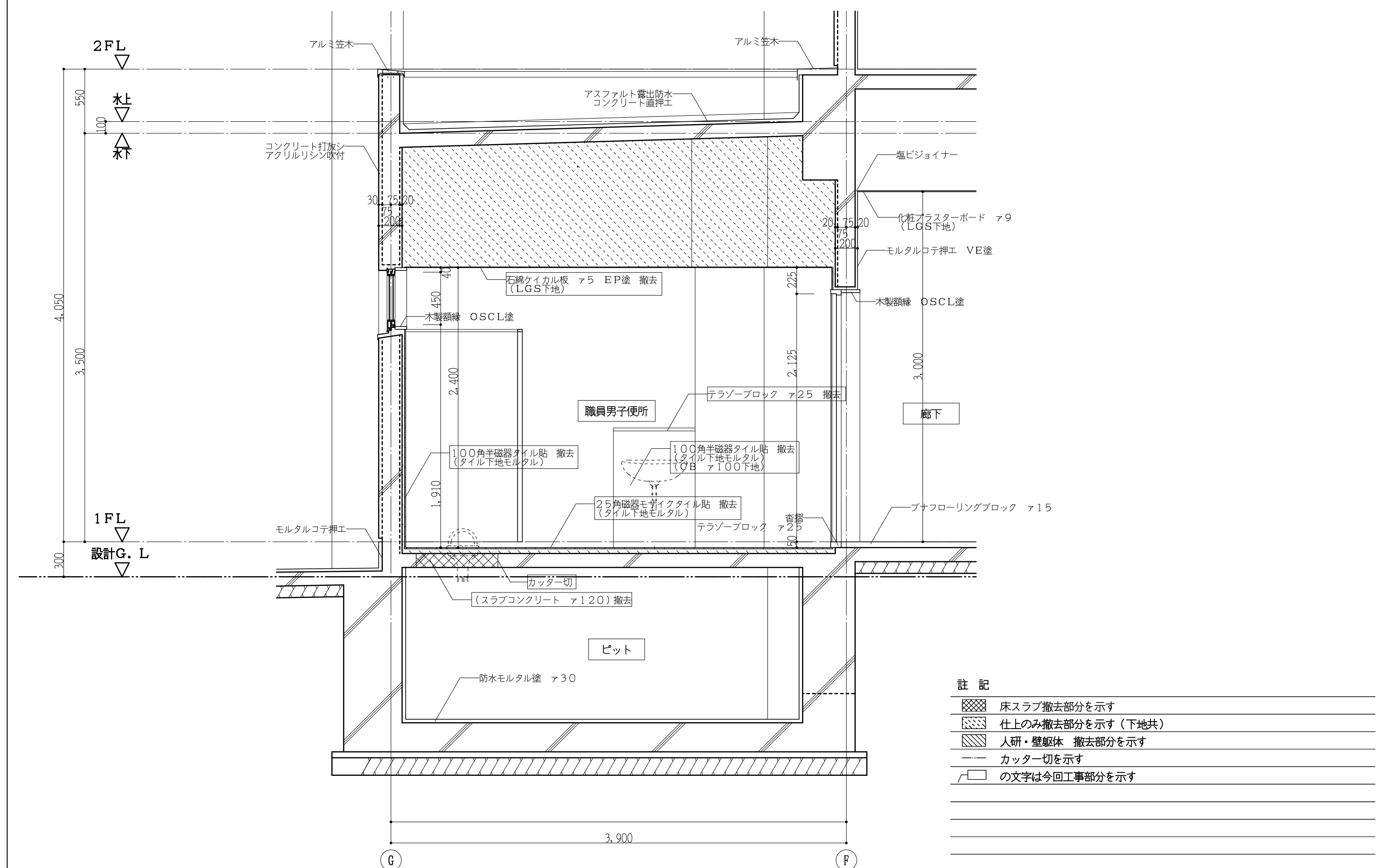
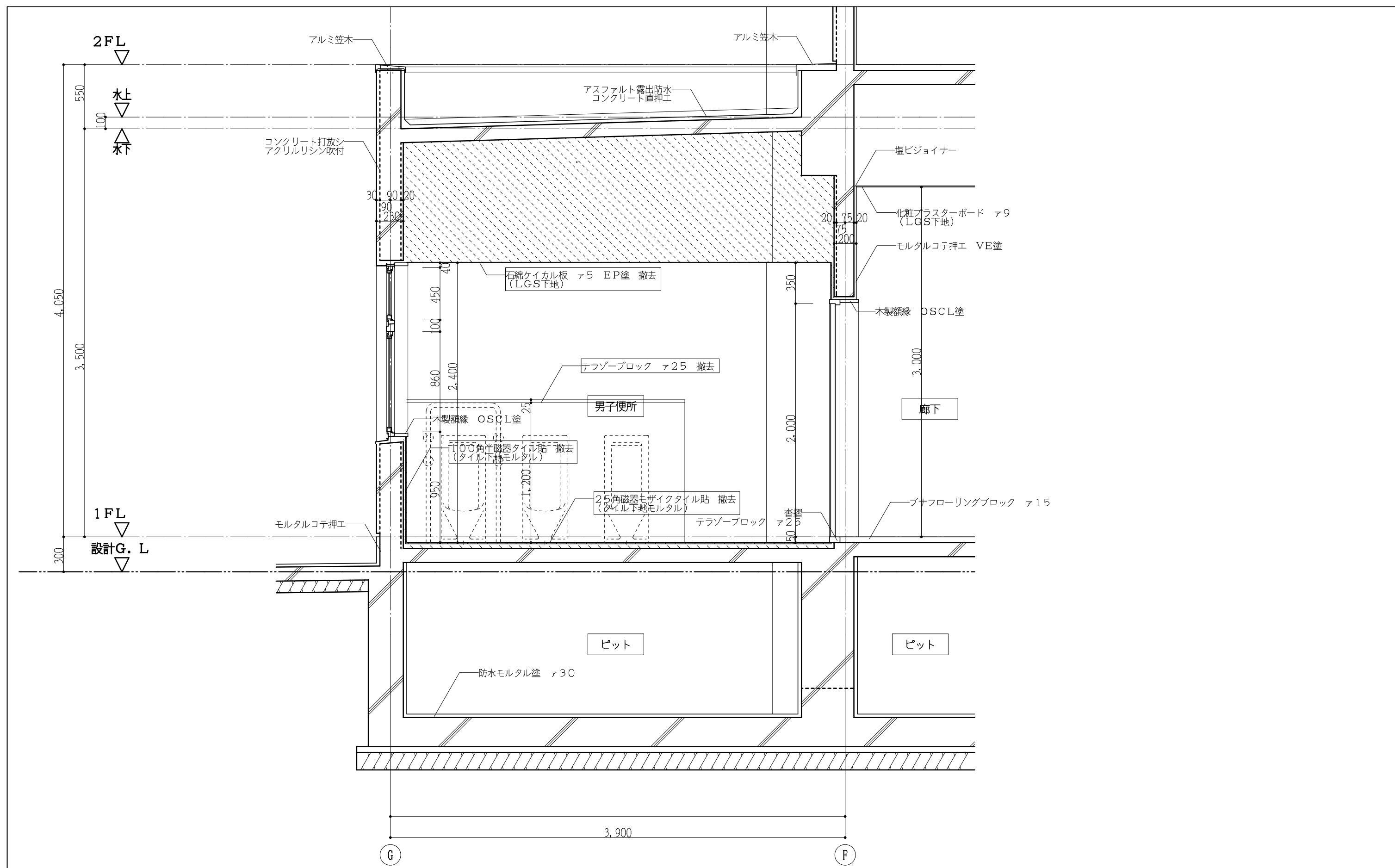


現況1階平面図 1:100



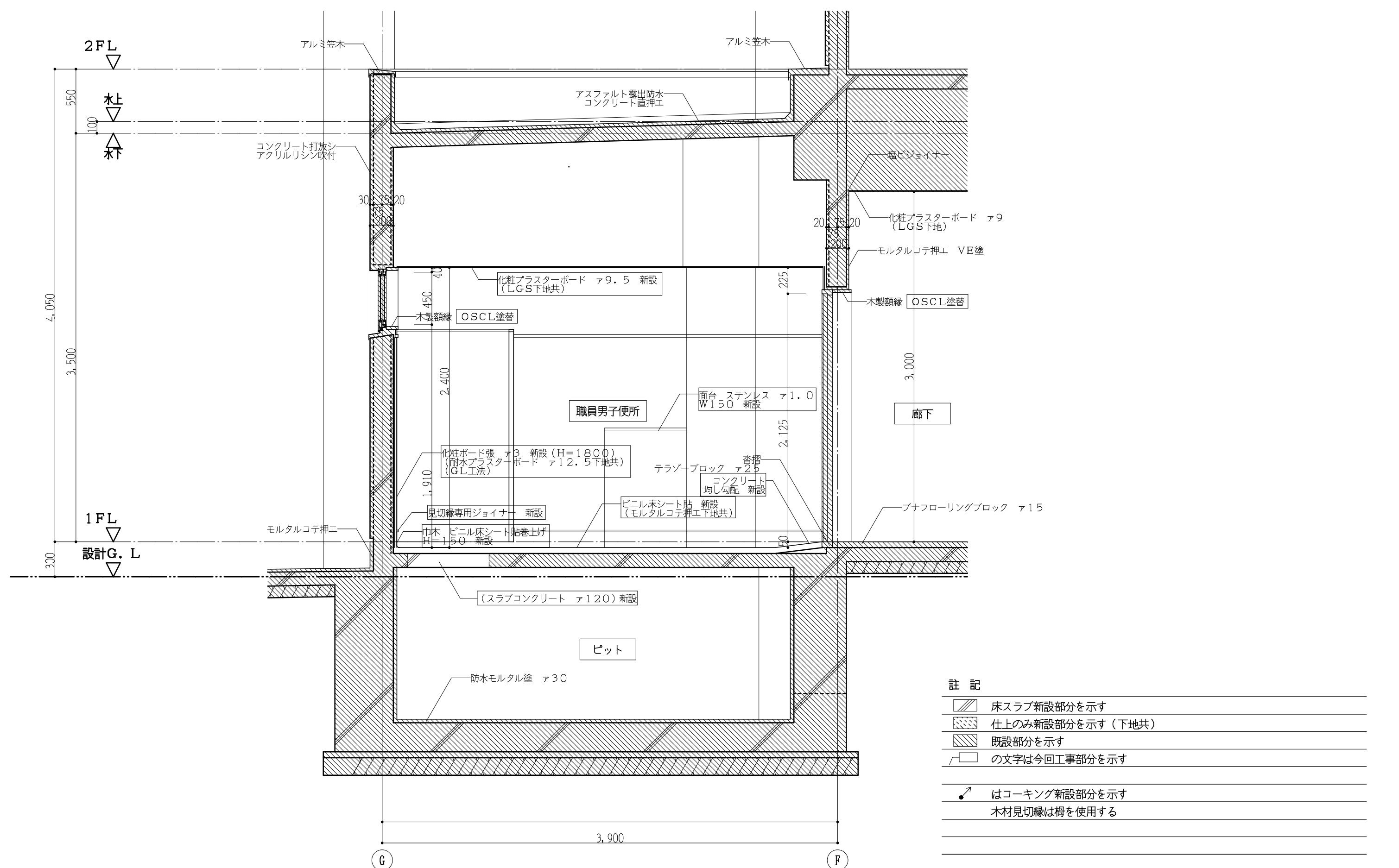
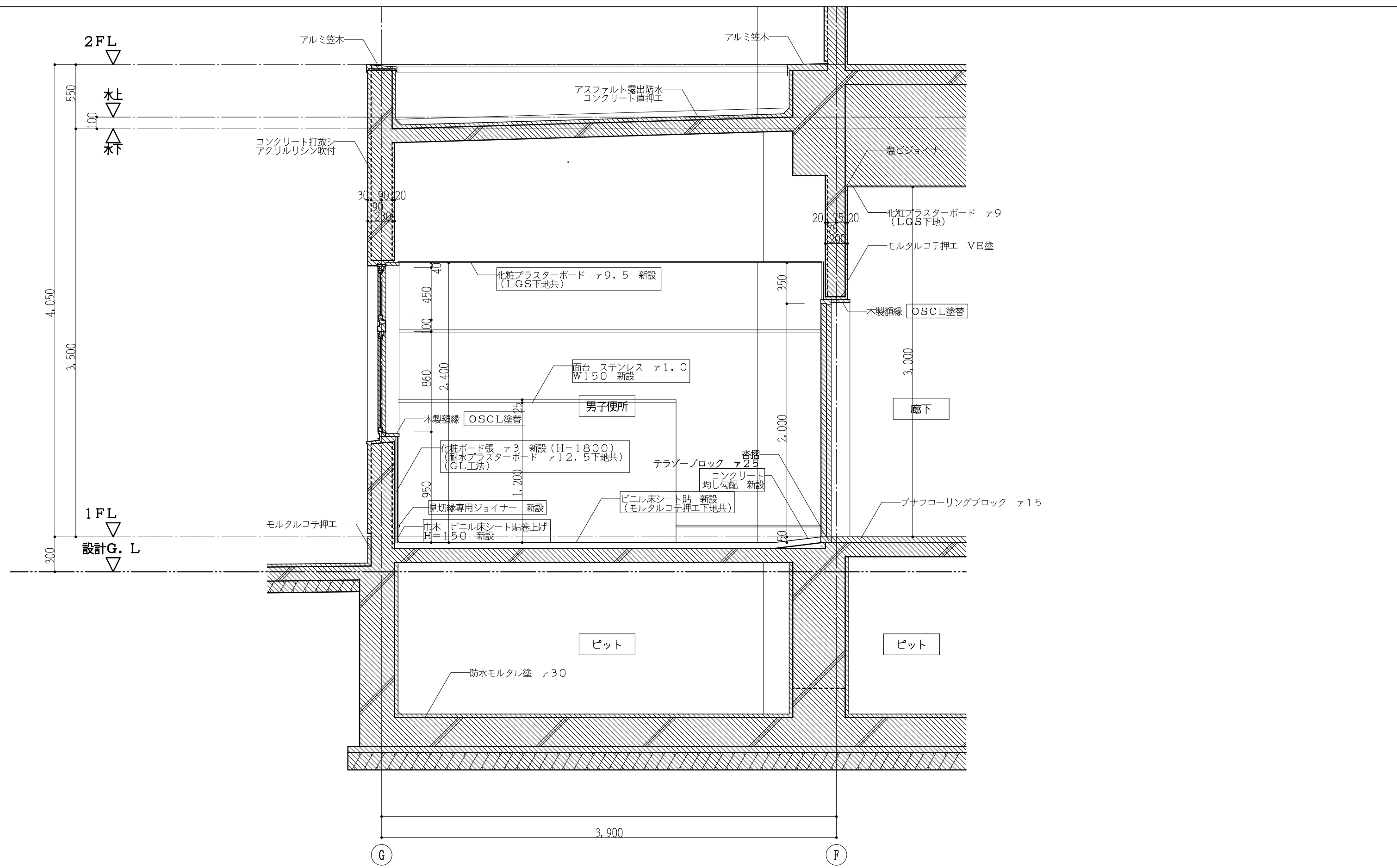
- 註記
- は 今回改修部分を示す
  - は 室名札の取付位置を示す
  - は 簡易間仕切壁を示す(天井までH=3,000)

工事番号・工事名 1相連教449号 相楽東部広域連立立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)		S-19708	図面の名称 現況1階平面図	作成年月日 令和元年5月
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市南1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県東近江市中央1丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 棟師 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1) 1:100	縮尺(A3) 1:200	図面番号 A-06



現況断面詳細図 1:30

- 註記
- 床スラブ撤去部分を示す
  - 仕上のみ撤去部分を示す(下地共)
  - 人研・壁紙体 撤去部分を示す
  - カッター切を示す
  - の文字は今回工事部分を示す

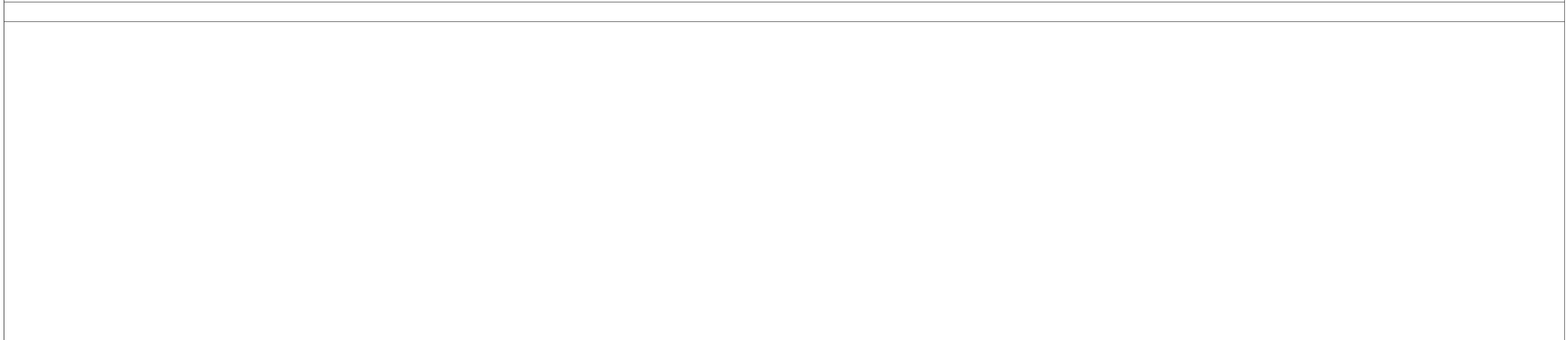
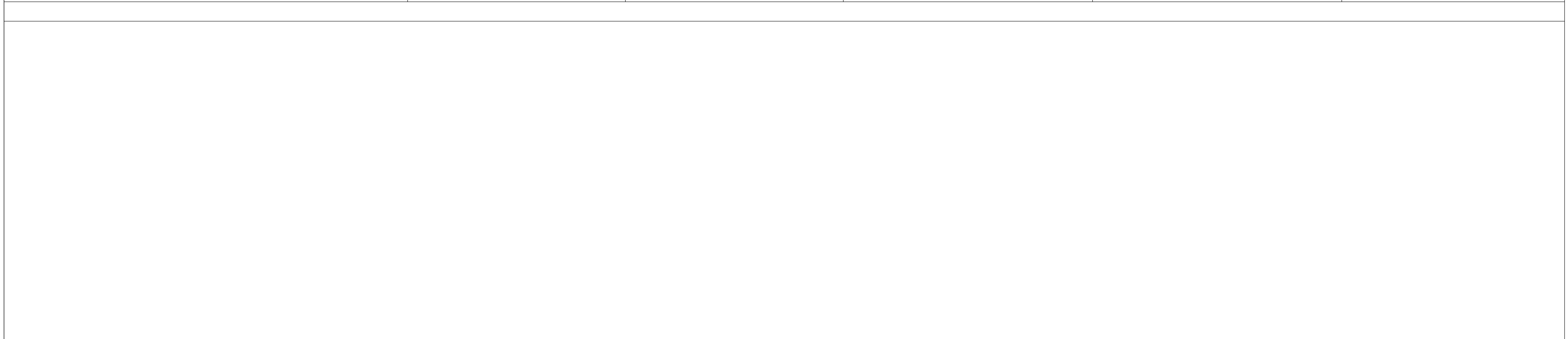


改修断面詳細図 1:30

- 註記
- 床スラブ新設部分を示す
  - 仕上のみ新設部分を示す(下地共)
  - 既設部分を示す
  - の文字は今回工事部分を示す
  - はコーキング新設部分を示す
  - 木材見切縁は枠を使用する

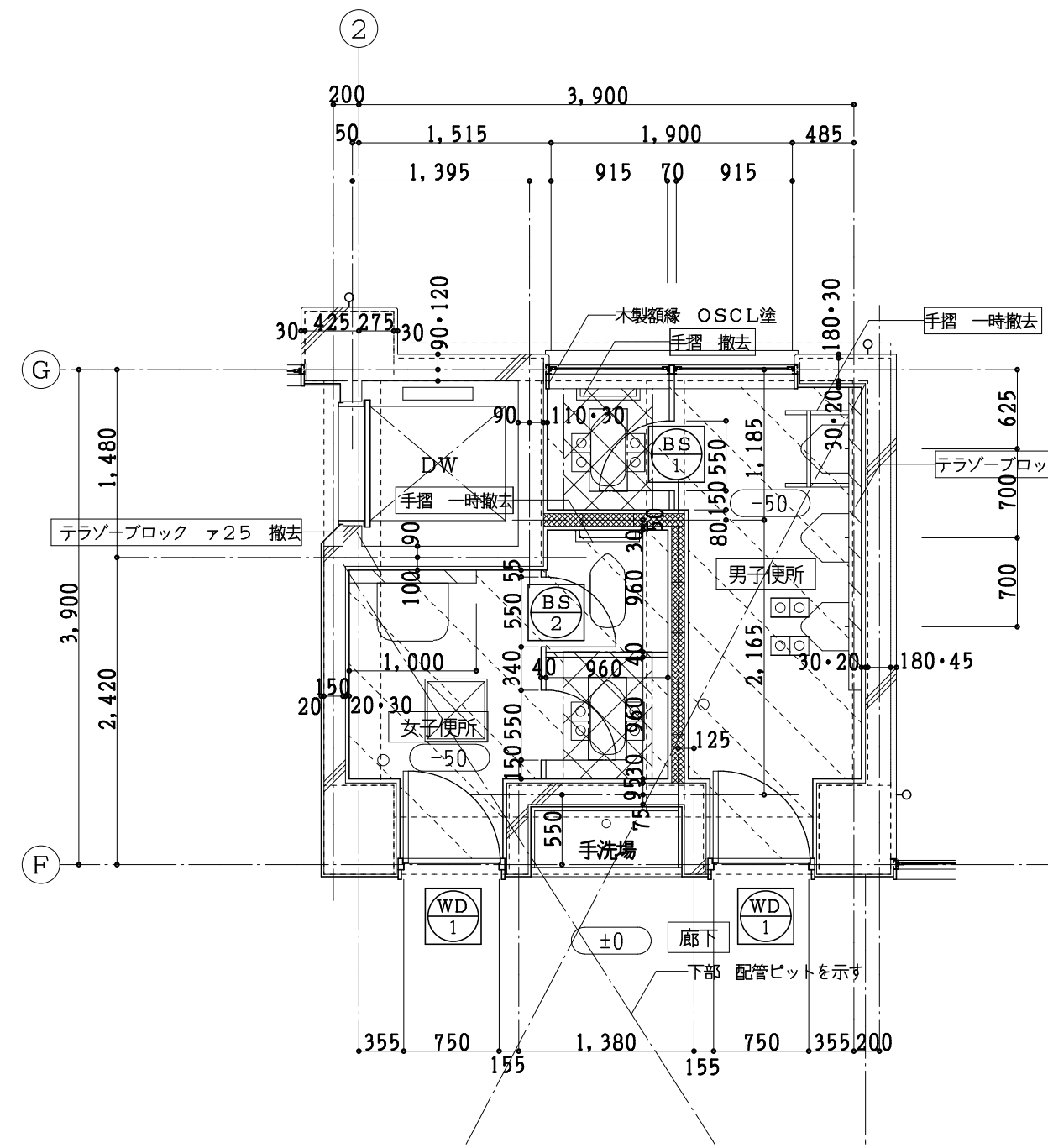
工事番号・工事名 1名連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)		S-19708	図面の名称	作成年月日
			現況・改修断面詳細図	令和元年5月
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府大阪市東区1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県東部中央1丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 棟 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号
		1:30	1:60	A-07

D-1	(校舎棟) 便器開口詳細図 (1階)	1:20	D-2	(校舎棟) L型手摺	1:30	D-3	(校舎棟) ライニング壁詳細図 (LGS下地)	1:30	D-4	(校舎棟) ステンレス面台	-	D-5	既設手摺 一時撤去・復旧	-																								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>既設開口閉塞</p> <p>既設開口はつりを行う前に鉄筋検査を行うこと</p> <p>※1) 既設開口 (L1・L2) より200以上上り、既設鉄筋を出すこと          ※2) 新設鉄筋のピッチは既設鉄筋と同じとし新設鉄筋は既設鉄筋もしくは既設開口補強筋が、ずれかご溶接 (フレア、10d) とする</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>ステンレス製 38φ 4ヶ所</p> </div> <div style="width: 25%;"> <p>面台: ステンレス面台 ヲ1.0          ライニング 新設 (下地LGS6.5共)          耐水プラスチックボード ヲ12.5+化粧ボード ヲ3          (目地部はシーリング)</p> <p>SK及び小便器取付金具部分には LGS下地層を配置すること</p> </div> <div style="width: 25%;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>材質・仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面台</td> <td>ステンレス304 t.1.0 木下地</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>家具番号</th> <th>W×D</th> <th>部名</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1000×150</td> <td>1F 女子便所 (手洗い)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2400×150</td> <td>1F 男子便所 (小便器)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1700×150</td> <td>1F 職員男子便所 (小便器)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>700×150</td> <td>1F 職員男子・女子便所 (手洗い)</td> <td>2台</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 25%;"> <p>①既設小便器手摺 一時撤去・復旧 2ヶ所          ②既設和便器手摺 一時撤去・復旧 2ヶ所          ③既設手洗い手摺 一時撤去・復旧 2ヶ所</p> </div> </div>															名称	材質・仕様	面台	ステンレス304 t.1.0 木下地	家具番号	W×D	部名	台数	1	1000×150	1F 女子便所 (手洗い)	1台	2	2400×150	1F 男子便所 (小便器)	1台	3	1700×150	1F 職員男子便所 (小便器)	1台	4	700×150	1F 職員男子・女子便所 (手洗い)	2台
名称	材質・仕様																																					
面台	ステンレス304 t.1.0 木下地																																					
家具番号	W×D	部名	台数																																			
1	1000×150	1F 女子便所 (手洗い)	1台																																			
2	2400×150	1F 男子便所 (小便器)	1台																																			
3	1700×150	1F 職員男子便所 (小便器)	1台																																			
4	700×150	1F 職員男子・女子便所 (手洗い)	2台																																			

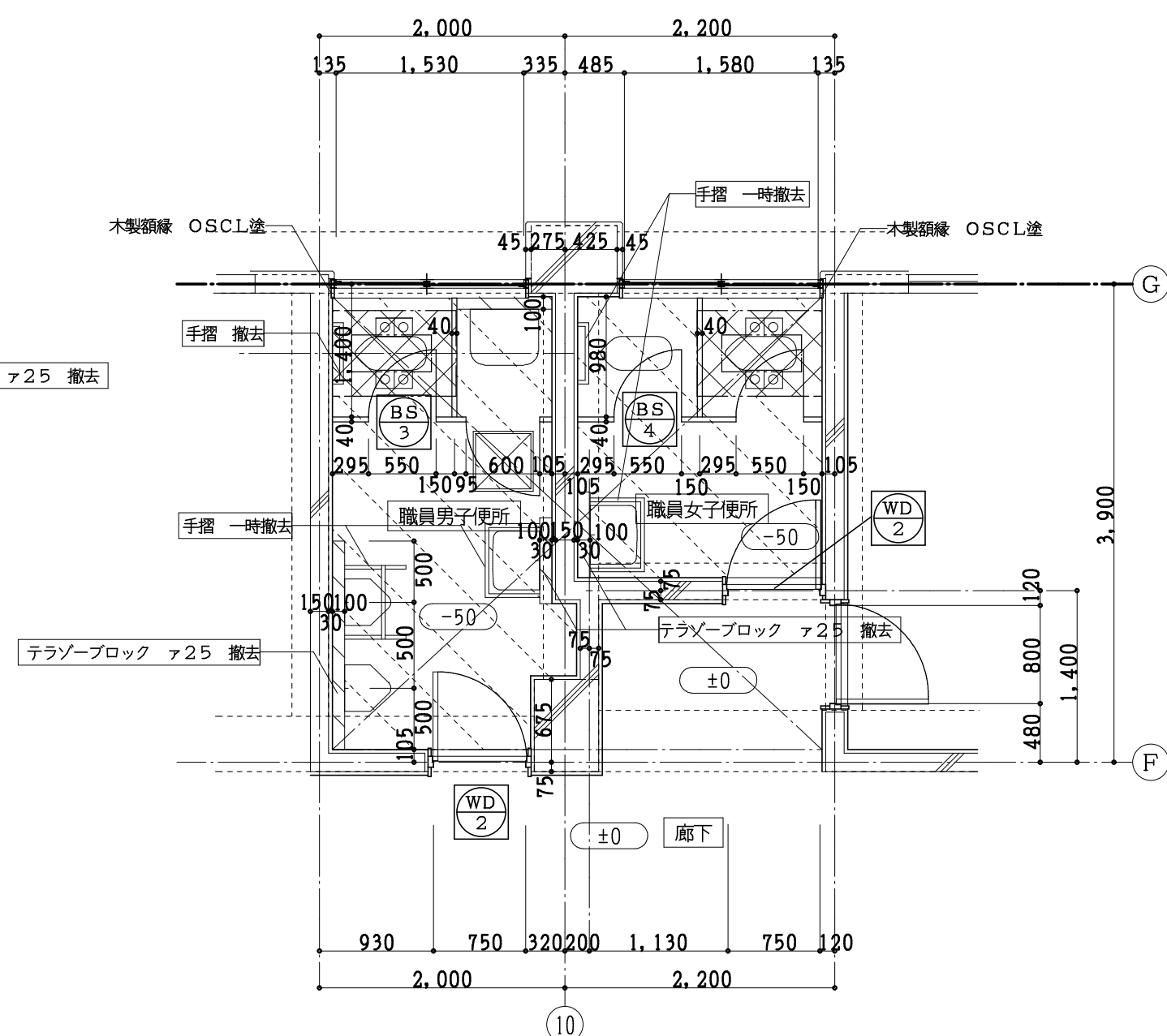


工事番号・工事名 1相連教449号 相楽東部広域連立立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)		S-19708	図面の名称		作成年月日
		部分詳細図		令和元年5月	
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市深江1丁目3番12号 一級建築士 198531号 深田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖西市中央丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理棟監士 深田 耕一 棟頭 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺 (A1)	縮尺 (A3)	図面番号
			1:30	1:60	A-08

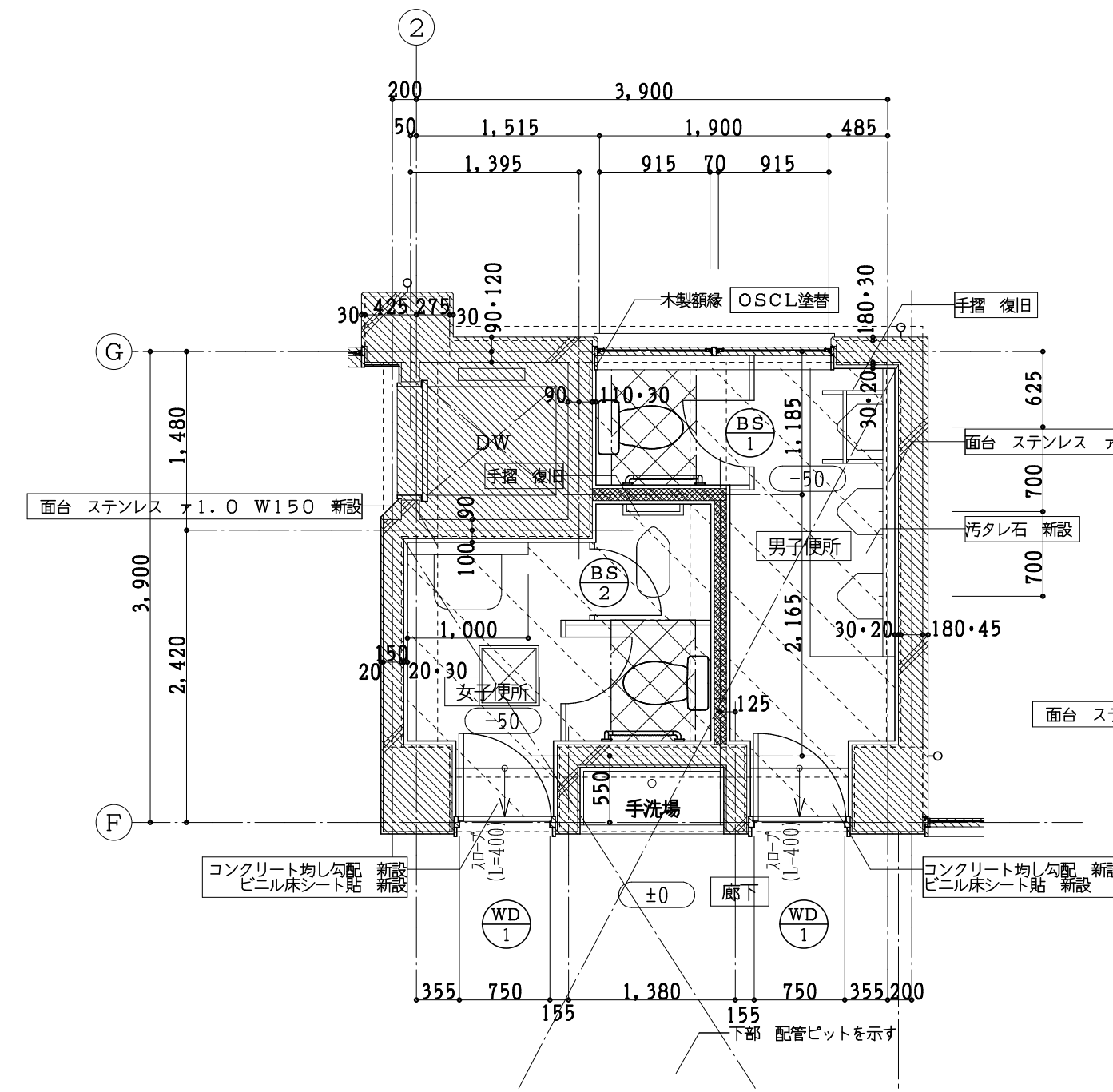




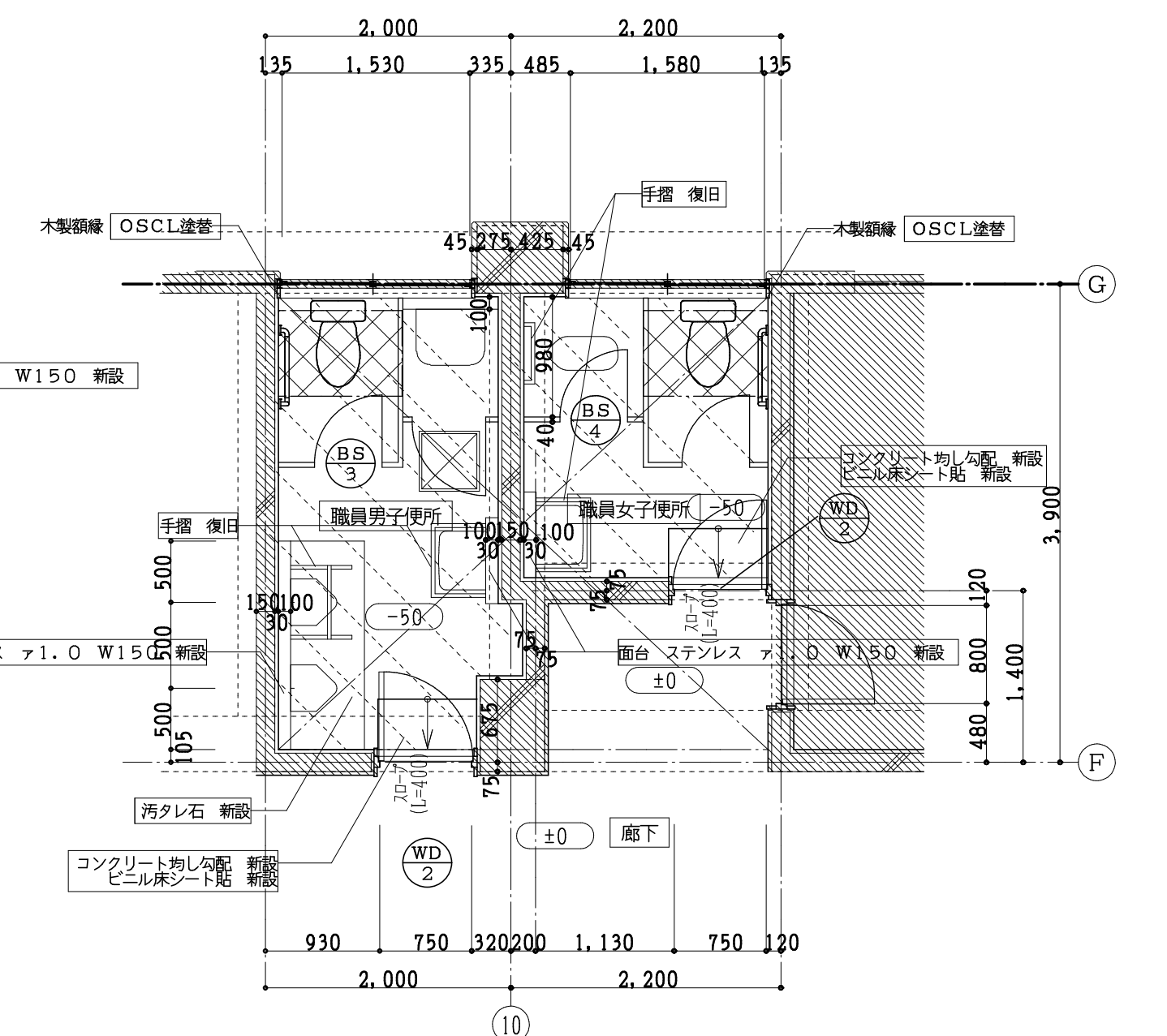
現況1階平面詳細図 1:50  
生徒用便所



現況1階平面詳細図 1:50  
職員用便所

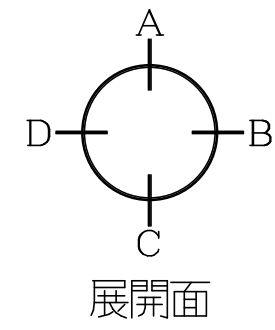


改修1階平面詳細図 1:50  
生徒用便所

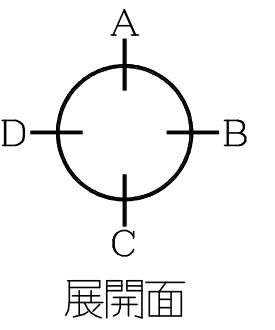


改修1階平面詳細図 1:50  
職員用便所

- 註記
- 床スラブコンクリート撤去部分を示す (タイル下地モルタル共)
  - 仕上のみ撤去部分を示す (モルタル下地共)
  - 人研 撤去部分を示す
  - カッター切を示す
  - の文字は今回工事部分を示す
  - 撤去建具を示す
  - 床高さを示す
  - 衛生器具は女子便所、職員女子便所、和便器1個ずつ残し他は撤去(設備)



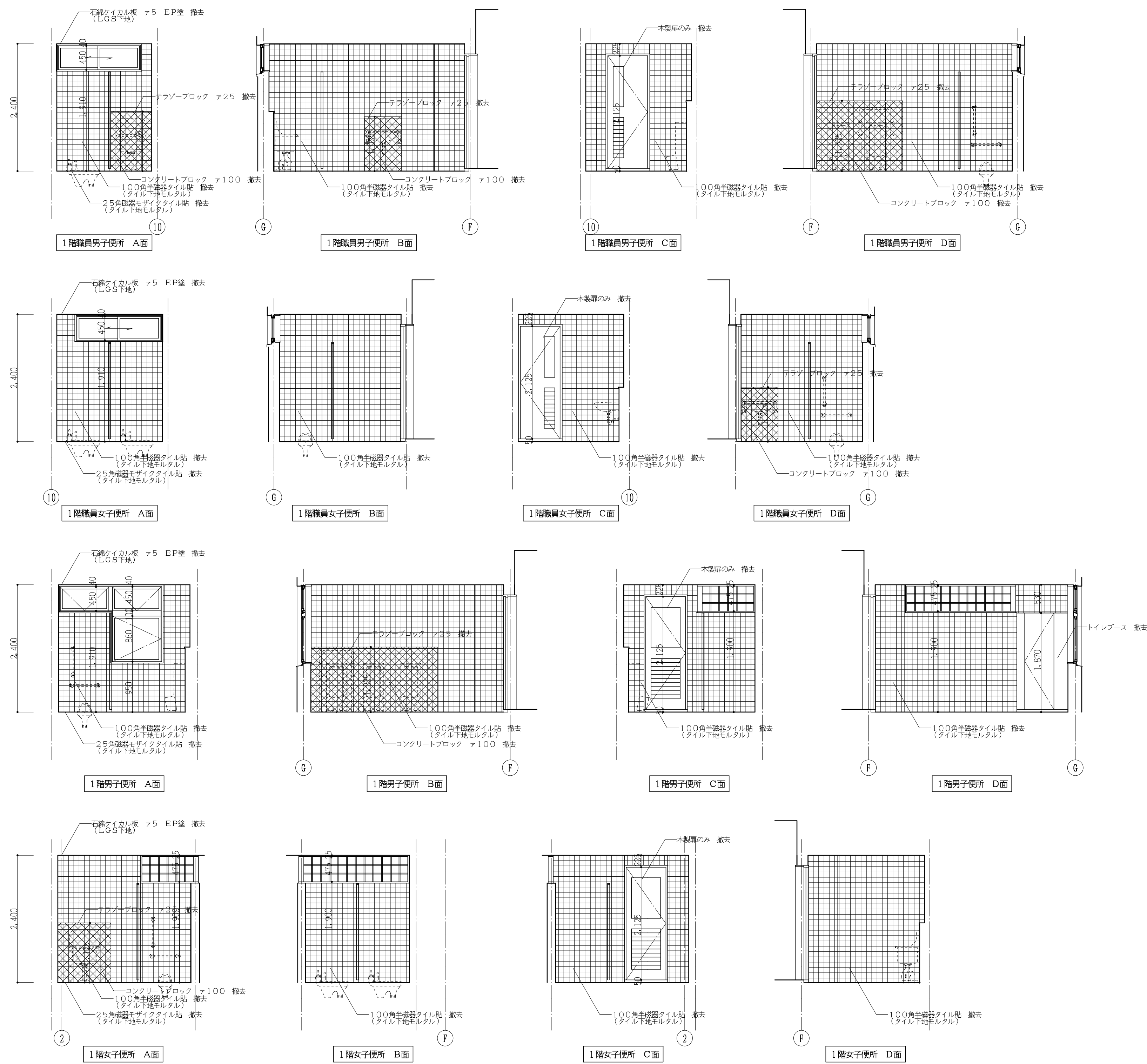
- 註記
- 床スラブコンクリート新設部分を示す (タイル下地モルタル共)
  - 仕上のみ新設部分を示す (モルタル下地共)
  - 既設部分を示す
  - の文字は今回工事部分を示す
  - 新設・改修建具を示す
  - 床高さを示す
  - 衛生器具は女子便所、職員女子便所、和便器1個ずつ残し他は撤去(設備)



室内仕上 ( )内は、下地を示す

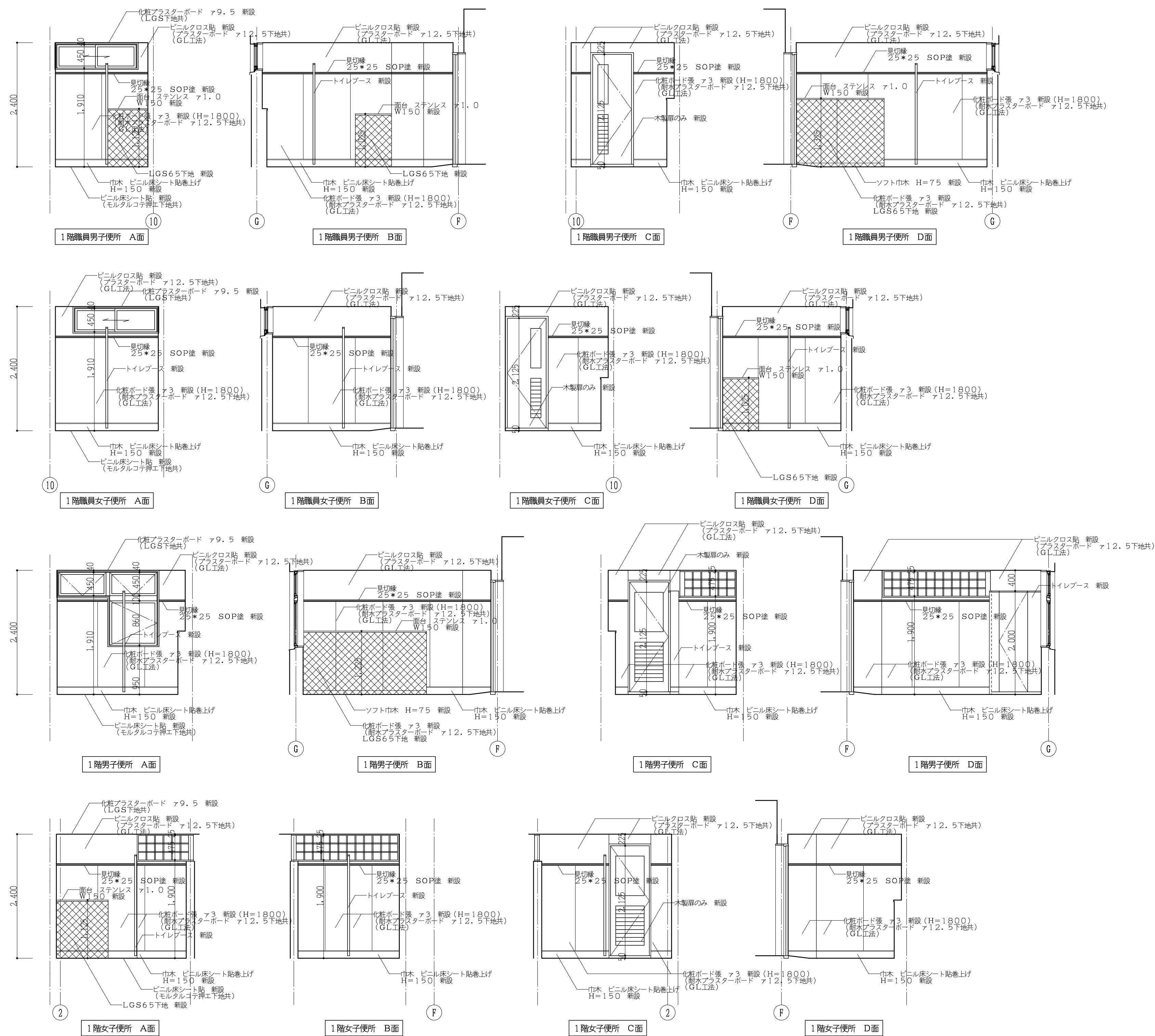
棟	階	室名	天井高	床	巾木	腰壁	壁	天井	備考	
校舎棟	1	男子便所	現況	2.400	25角半磁器モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	石牌ケイカル板 ア5 EP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース、木製ドアのみ 撤去
			改修	2.400	ビニル床シート貼 新設(モルタルコテ押工下地共) 汚濁石タイル貼 新設 (タイル下地モルタル共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	ビニル床シート貼 H=100巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) (一部 ソフト巾木 H=75 新設)	化粧ボード張 ア6 新設 (H=1800) (耐水アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニルクロス貼 新設 (アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	化粧アースターボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース、天井点検口、木製ドアのみ 新設
		女子便所	現況	2.400	25角半磁器モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	石牌ケイカル板 ア5 EP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース、木製ドアのみ 撤去
			改修	2.400	ビニル床シート貼 新設 (モルタルコテ押工下地共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	ビニル床シート貼 H=100巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) (一部 ソフト巾木 H=75 新設)	化粧ボード張 ア6 新設 (H=1800) (耐水アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニルクロス貼 新設 (アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	化粧アースターボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース、天井点検口、木製ドアのみ 新設
	職員男子便所	現況	2.400	25角半磁器モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	石牌ケイカル板 ア5 EP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース、木製ドアのみ 撤去	
		改修	2.400	ビニル床シート貼 新設(モルタルコテ押工下地共) 汚濁石タイル貼 新設 (タイル下地モルタル共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	ビニル床シート貼 H=100巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) (一部 ソフト巾木 H=75 新設)	化粧ボード張 ア6 新設 (H=1800) (耐水アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニルクロス貼 新設 (アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	化粧アースターボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース、天井点検口、木製ドアのみ 新設	
	職員女子便所	現況	2.400	25角半磁器モザイクタイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	100角半磁器タイル貼 撤去 (タイル下地モルタル共) (一部 CB ア100下地共)	石牌ケイカル板 ア5 EP塗 撤去 (LGS下地共)	トイレブース、木製ドアのみ 撤去	
		改修	2.400	ビニル床シート貼 新設 (モルタルコテ押工下地共) (一部 スラブコンクリート ア120共)	ビニル床シート貼 H=100巻上げ 新設 (モルタルコテ押工下地共) (一部 ソフト巾木 H=75 新設)	化粧ボード張 ア6 新設 (H=1800) (耐水アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	ビニルクロス貼 新設 (アースターボード ア12.5下地共) (一部 LGS90下地共)	化粧アースターボード ア9.5 新設 (LGS下地共)	トイレブース、天井点検口、木製ドアのみ 新設	
廊下	現況	3.000	アパロリンコンブロック ア15 (モルタルコテ押工下地)	木製巾木 H=75 OP塗	モルタルコテ押工 VE塗	モルタルコテ押工 VE塗	モルタルコテ押工 VE塗	化粧アースターボード ア9 (LGS下地共)		
	改修	3.000	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま		

工事番号・工事名	1相連棟449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)	S-19708	図面の名称	現況・改修1階平面詳細図	作成年月日	令和元年5月
株式会社 日匠設計	大坂本社 大坂府松原市内保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬湖市中央丁95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理棟士 澤田 耕一 棟師 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号	A-09
			1:50	1:100		



現況展開図 1:50

工事番号・工事名 1相連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)		S-19708	図面の名称		作成年月日
			現況展開図		令和元年5月
株式会社 日匠設計 大阪本社 大阪府松原市内保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 深田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬川町中央1丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166		管理建築士 深田 耕一 棟 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号
			1:50	1:100	A-10



改修展開図 1:50

工事番号・工事名 1相連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)		S-19708	図面の名称 改修展開図	作成年月日 令和元年5月
株式会社 日匠設計 大坂本社 大阪府大阪市東区1丁目3番12号 一級建築士 198531号 深田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県東部中央1丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理棟監事 深田 耕一 棟 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号
		1:50	1:100	A-11

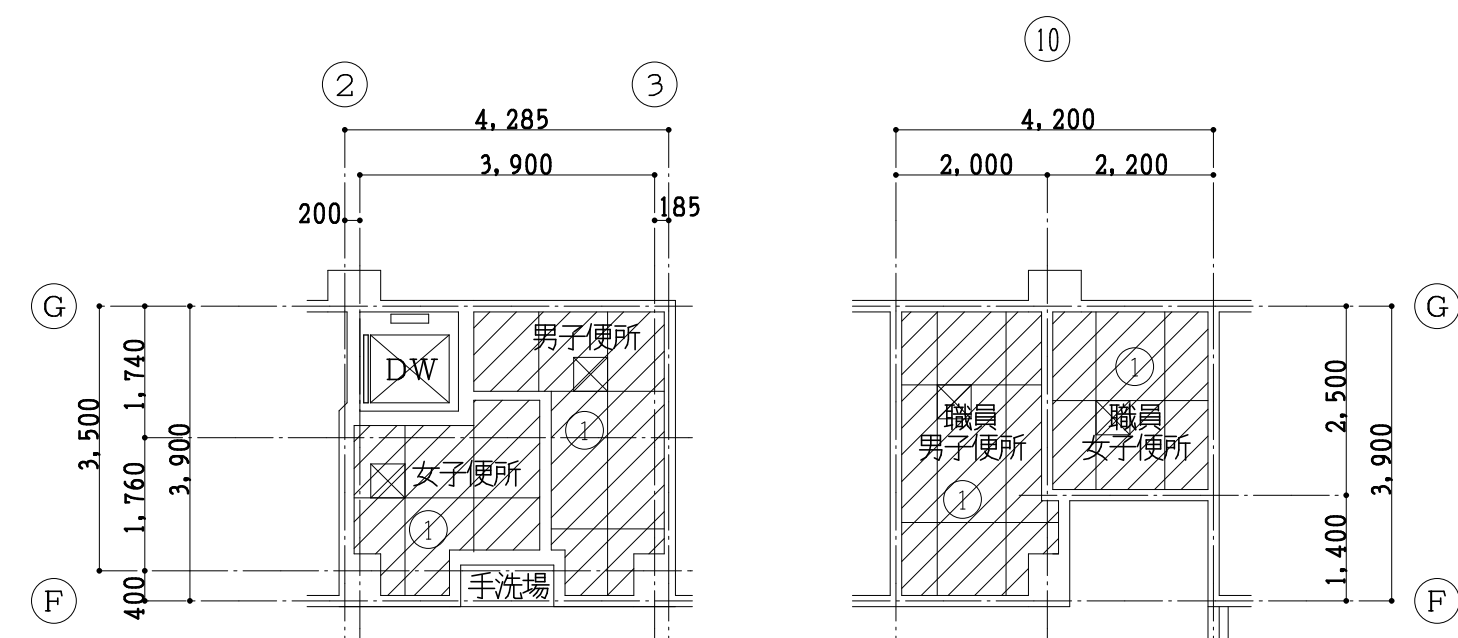


現況建具リスト 1:50

記号	(BS1) トイレブース 撤去		(BS2) トイレブース 撤去		(BS3) トイレブース 撤去		(BS4) トイレブース 撤去		(WD1) 木製片開きフラッシュ戸 撤去(扉のみ)		(WD2) 木製片開きフラッシュ戸 撤去(扉のみ)	
	数	見込	数	見込	数	見込	数	見込	数	見込	数	見込
仕上	メラミン化粧板貼		メラミン化粧板貼		メラミン化粧板貼		メラミン化粧板貼		シナベニヤ ㏽4		シナベニヤ ㏽4	
ガラス	-		-		-		-		型板ガラス ㏽4.0		型板ガラス ㏽4.0	
金物	-		-		-		-		押棒 (L=300)、丁番3枚吊、付属金物一式		押棒 (L=300)、丁番3枚吊、付属金物一式	
使用個所	1階男子便所		1階女子便所		1階職員男子便所		1階職員女子便所		1階男子・女子便所		1階職員男子・職員女子便所	
備考	-		-		-		-		-		-	
姿図												

改修建具リスト 1:50

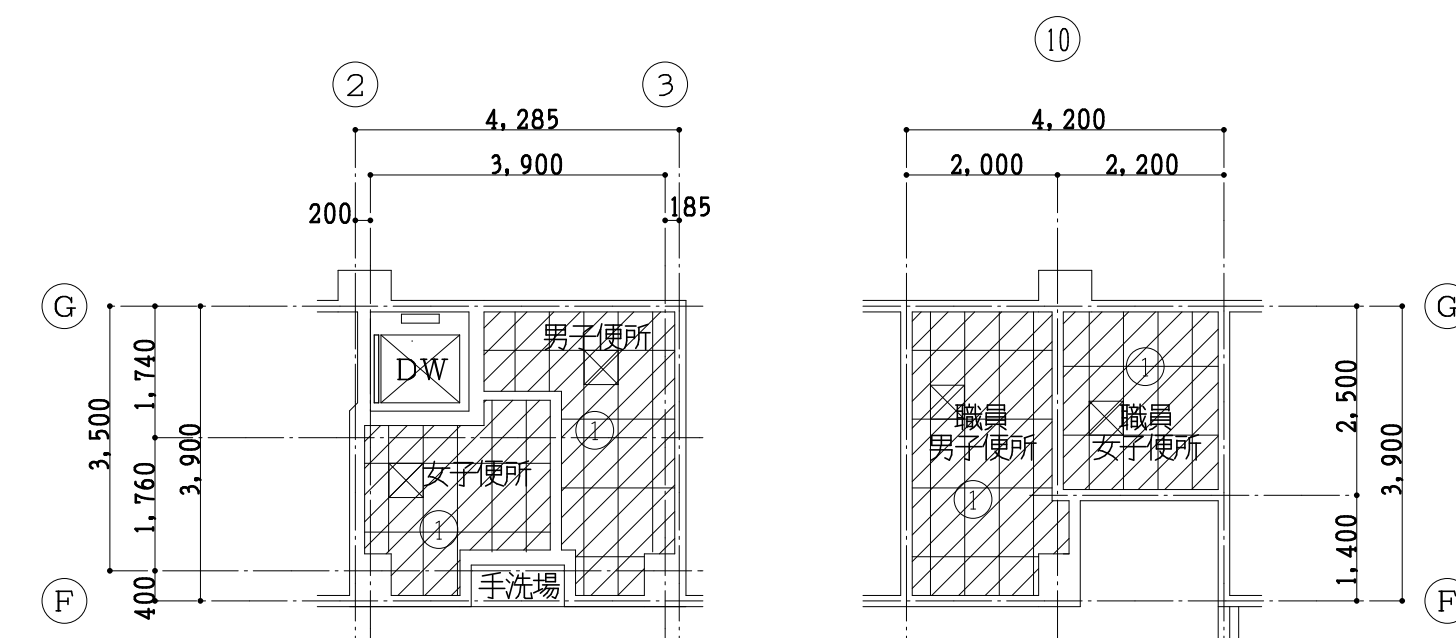
記号	(BS1) トイレブース 新設		(BS2) トイレブース 新設		(BS3) トイレブース 新設		(BS4) トイレブース 新設		(WD1) 木製片開きフラッシュ戸 新設(扉のみ)		(WD2) 木製片開きフラッシュ戸 新設(扉のみ)	
	数	見込	数	見込	数	見込	数	見込	数	見込	数	見込
仕上	ポリ合板貼(小口処理)		ポリ合板貼(小口処理)		ポリ合板貼(小口処理)		ポリ合板貼(小口処理)		シナベニヤ ㏽4		シナベニヤ ㏽4	
ガラス	-		-		-		-		型板ガラス ㏽4.0		型板ガラス ㏽4.0	
金物	SUS鎖ツナギ40x20, SUS幅木, 表示錠, グレピティヒンジ, 戸当り帽子掛け付		SUS鎖ツナギ40x20, SUS幅木, 表示錠, グレピティヒンジ, 戸当り帽子掛け付		SUS鎖ツナギ40x20, SUS幅木, 表示錠, グレピティヒンジ, 戸当り帽子掛け付		SUS鎖ツナギ40x20, SUS幅木, 表示錠, グレピティヒンジ, 戸当り帽子掛け付		押棒 (L=300)、丁番3枚吊、付属金物一式		押棒 (L=300)、丁番3枚吊、付属金物一式	
使用個所	1階男子便所		1階女子便所		1階職員男子便所		1階職員女子便所		1階男子・女子便所		1階職員男子・職員女子便所	
備考	-		-		-		-		-		-	
姿図												



現況1階天井伏図 1:100

現況天井 仕上リスト

改修	
①	右鏡イカル板 ㏽5 EP塗 撤去(LGST地共)
⊠	点検口アルミ製 450角 撤去
▨	撤去範囲を示す



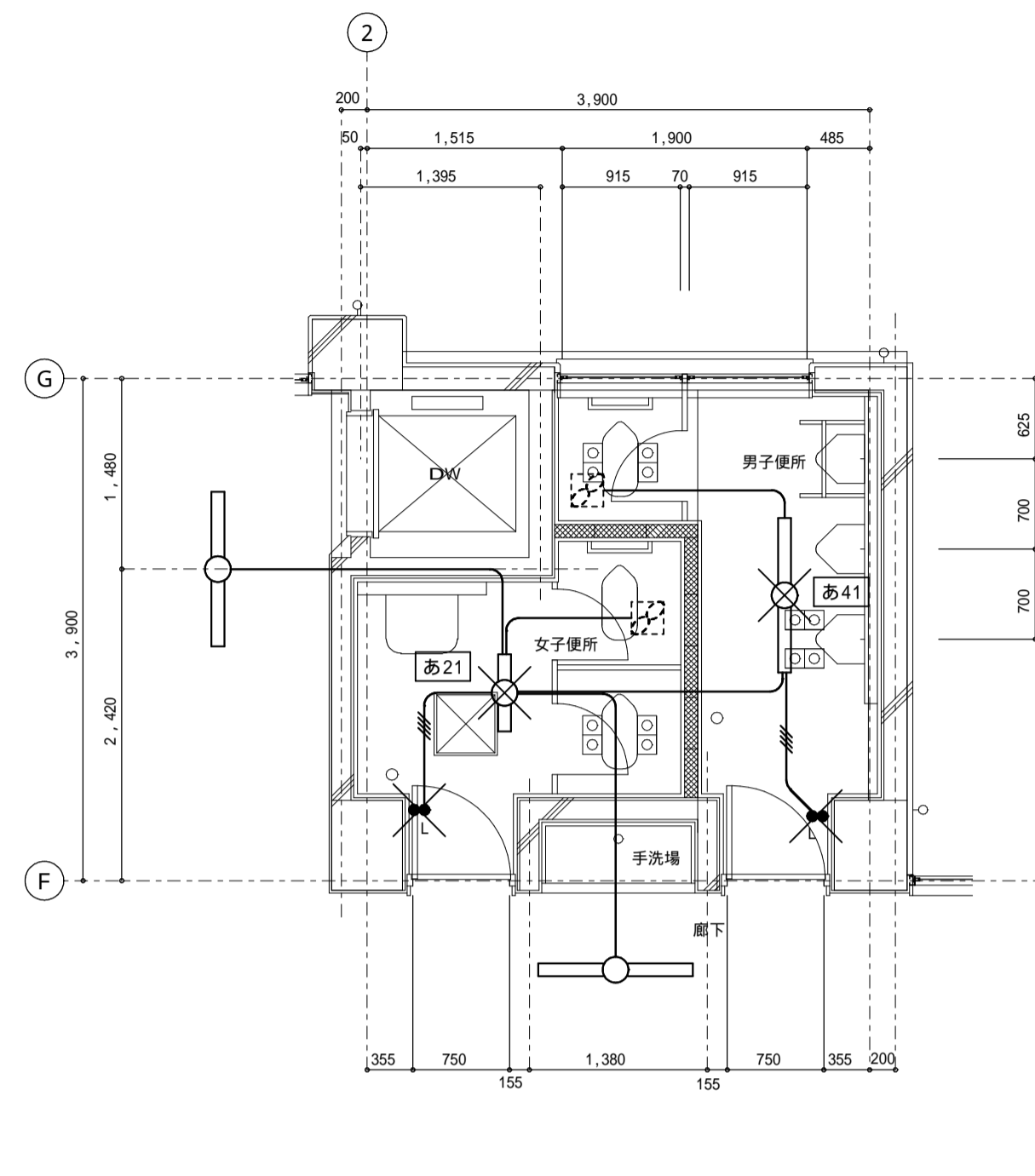
改修1階天井伏図 1:100

改修天井 仕上リスト

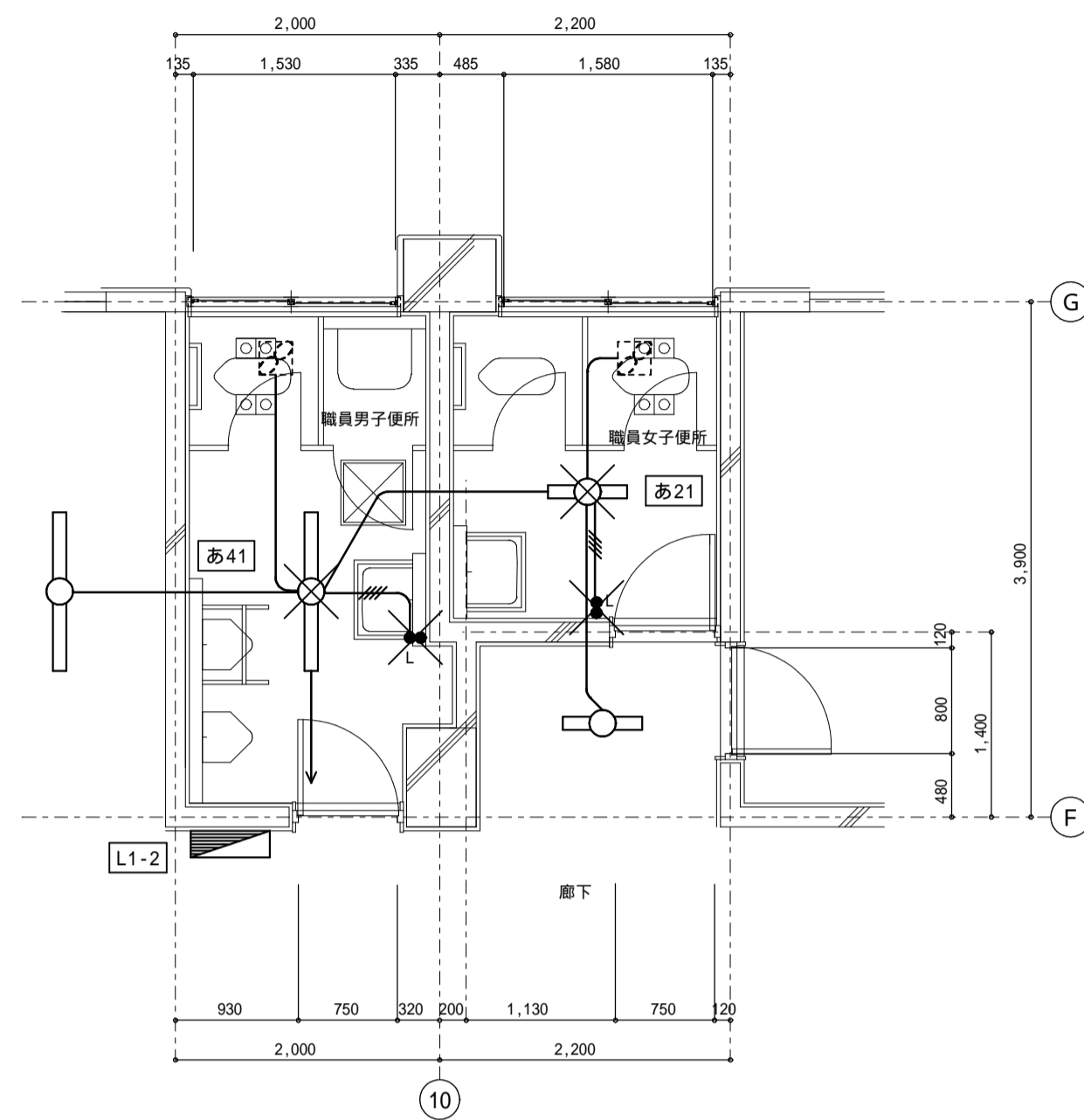
改修	
①	右鏡ガラスボード ㏽9.5 撤去(LGST地共)
⊠	点検口アルミ製 450角 撤去
▨	撤去範囲を示す

工事番号・工事名	1相連敷449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)	S-19708	図面の名称	現況・改修建具リスト 現況・改修1階天井伏図	作成年月日	令和元年5月
株式会社 日匠設計	大坂本社 大坂府松原市内環1丁目3番12号 一級建築士 198531号 深田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県瀬田中央丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 深田 耕一 棟検 杉本 孝良 作図 大久保 誠二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号	A-12
			1:50	1:100		
			1:100	1:200		

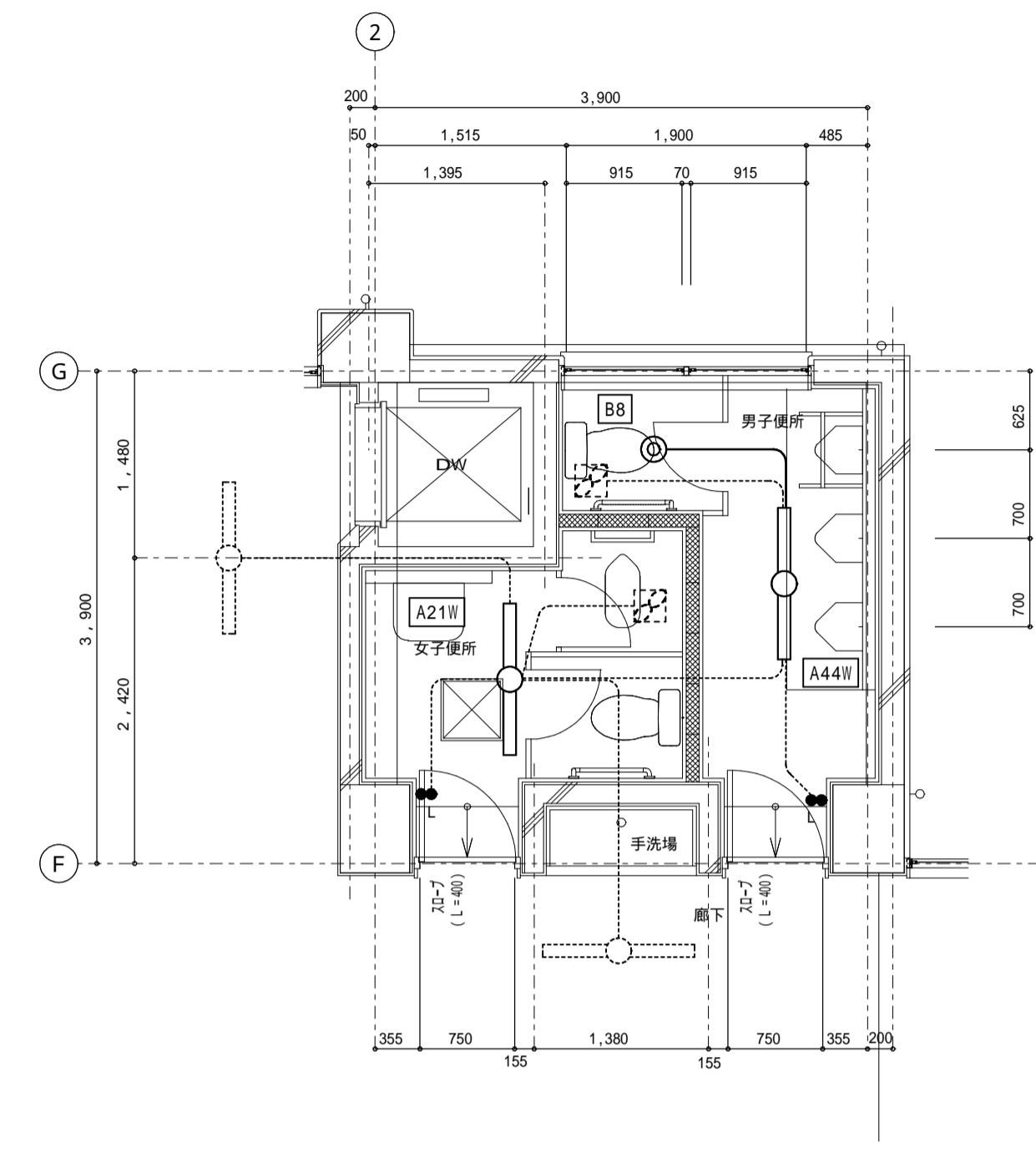




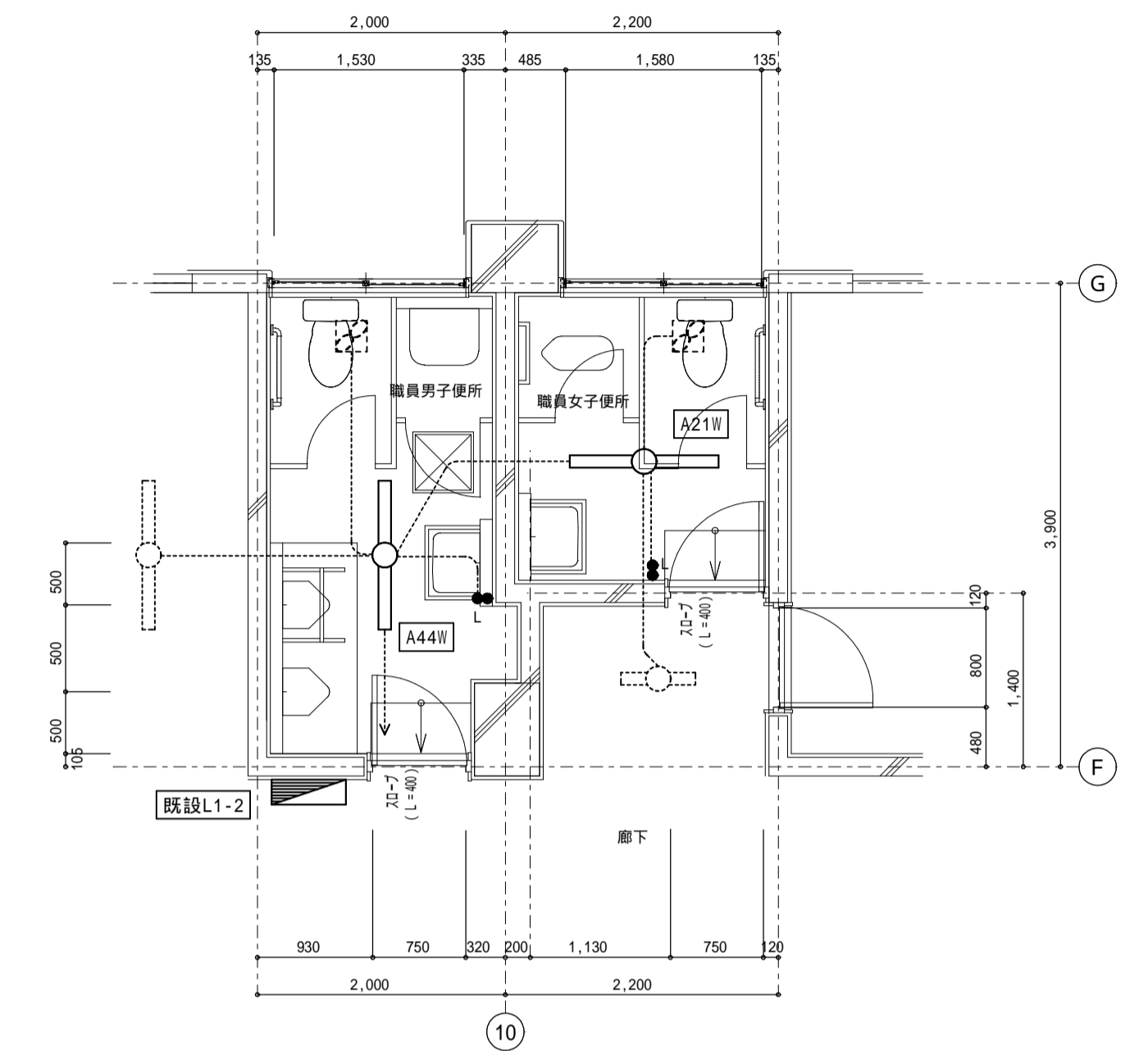
現況 1階平面詳細図 1:50  
生徒用便所



現況 1階平面詳細図 1:50  
職員用便所



改修 1階平面詳細図 1:50  
生徒用便所



改修 1階平面詳細図 1:50  
職員用便所

【特記事項】	
特記なき配管配線は下記の通りとする	
	1V1.6 x2 (E19)
	1V1.6 x4 (E25)
【凡例】	
	撤去処分を示す。

脱着及び撤去照明器具リスト		
あ21	直付富士型	FL20W x 1
あ41	直付富士型	FLR40W x 1

【特記事項】	
1) 特記なき配管配線は下記の通りとする。但し立下は電線管にて保護の事。	
EM-EFF 1.6-2C	
凡例	
	隠蔽配管配線
	露出配管配線 (屋内E P 屋外G P電線管)
	地中埋設配管配線
	架空ケーブル配線
	既存配管配線
	〇Aケーブル配線

A 2 1 W	iDシリーズ直付40形 Dスタイル 防湿防雨型 W150 32001mタイプ	B 8	LEDダウンライト100形
A 4 4 W	iDシリーズ直付40形 Dスタイル 防湿防雨型 W150 69001mタイプ		
<p>定格出力型、電圧100-242V          本体：ステンレス1層放射型防雨防塵仕様          防湿型・防雨型タイプは「ワパ」：ポリカーボネート（乳白）          防塵等級：IP65          保管温度：50000h          R=0.3、I.P.2級防塵型</p> <p>LSS9MP/RP-3000LMLE9 LSS9MP/RP-6450LMLE9</p>		<p>5000K、Rφ70、配光角度75°          電圧100-200V          消費電力：4.0W          光束：400lm（光束維持率85%）          照射角（上部）：プラスティック（ホワイト）          照射角（下部）：樹脂（黒）（75°）          設置高さ：約1.5m（天井）          埋込穴：150mm</p> <p>LR51-850LMLE9</p>	

工事番号・工事名	1相連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)	S-19708	図面の名称	現況・改修 電灯設備 1階平面詳細図	作成年月日	令和元年5月	
株式会社	日匠設計	管理棟棟長	澤田 耕一	棟長	杉本 孝良	作業	大久保 晴二
大坂本社	大坂府松原市阿保1丁目3番12号 一級建築士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931	滋賀事務所	滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号	
				1:50	1:100	E-02	



機械設備工事特記仕様書

Table with 2 columns: 工事概要 (Project Summary) and 建物概要 (Building Summary). Includes project name, location, and building details.

Table with 7 columns: No, 名称 (Name), 構造 (Structure), 階数 (Floors), 延面積 (Area), No, 名称 (Name), 構造 (Structure), 階数 (Floors), 延面積 (Area). Lists building components and their specifications.

Table with 7 columns: No, 工事種目 (Work Item), 新設 (New), 増設 (Add), 改修 (Renovate), 撤去 (Remove), 摘要 (Summary), No, 工事種目 (Work Item), 新設 (New), 仮設 (Temporary), 改修 (Renovate), 撤去 (Remove). Lists construction tasks and their status.

Table with 2 columns: 共通事項 (General Items) and 特記事項 (Special Items). Contains detailed specifications, standards, and safety measures for the project.

Table with 2 columns: 責任施工保証書 (Responsibility Construction Guarantee) and 取扱い説明 (Handling Instructions). Details liability and safety procedures.

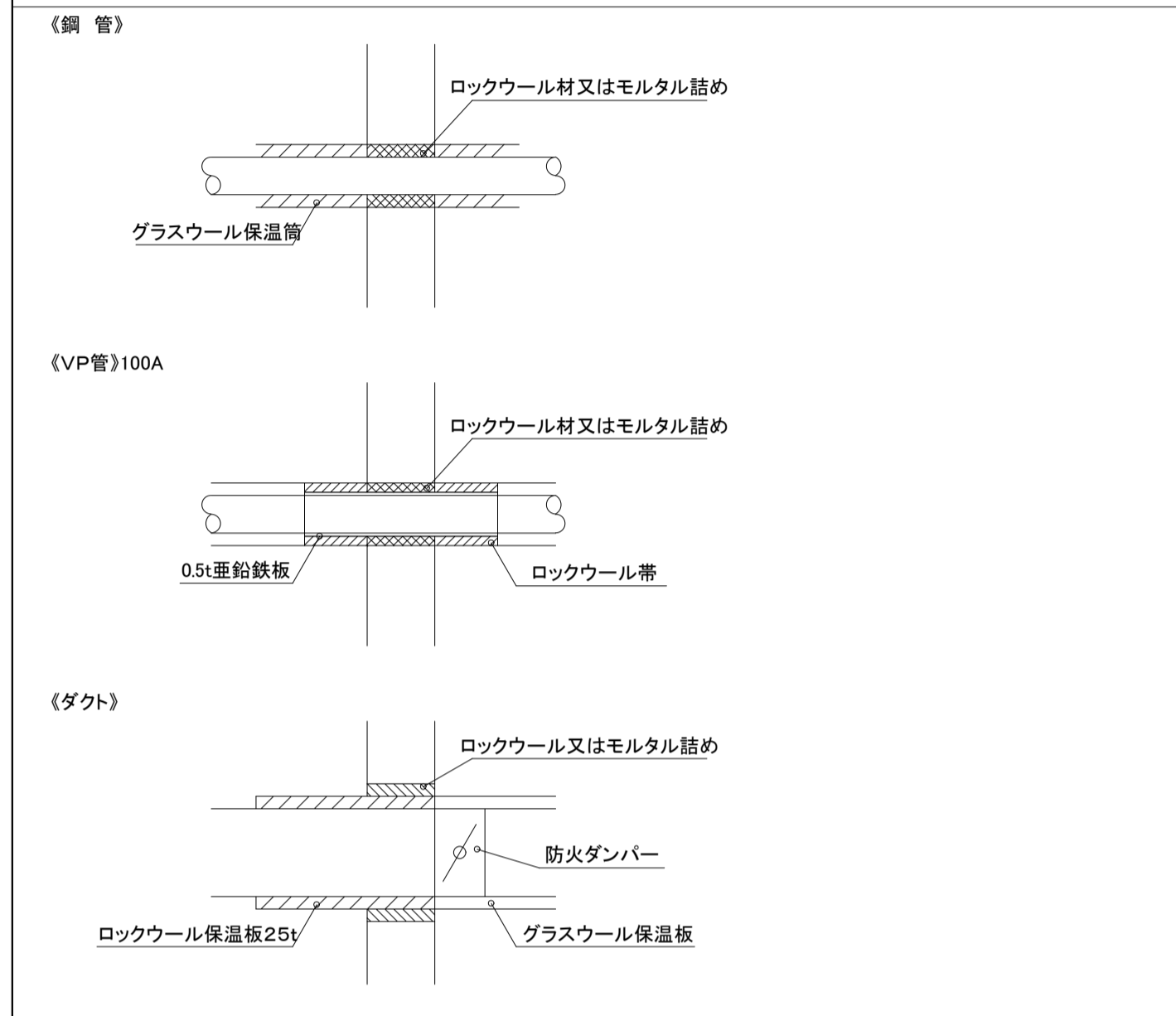
Main specification table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Items). Lists various equipment and materials like water supply, piping, and ventilation systems.

Main specification table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Items). Lists various equipment and materials like air conditioning, fire protection, and electrical systems.

Main specification table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Items). Lists various equipment and materials like fire extinguishers, water supply, and piping.

Table with 4 columns: 工事番号・工事名 (Project No./Name), 図面の名称 (Drawing Name), 作成年月日 (Creation Date), and 図面番号 (Drawing No.).

防火区画貫通箇所施工要領
（給排水管）
1、鋼管の場合
一管径に關係無く通常の保温工事で良い
一区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う
2、VP管の場合
一125mm以上は鋼管又は大臣認定のトミジパイプを使用する
一100mmには0.5垂鉛鉄板を前後1m巻く事
一保温は保温材がポリスチレンフォーム保温筒の場合は
ロックウール保温帯25を鉄線にて取り付ける
一区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う
一鉄板は区画貫通箇所を通して、前後1m管材の上に巻き
その上に保温を行う
一75mm以下は鉄板巻き不要である
一保温材はポリスチレンフォーム保温筒で良い、ただし
貫通箇所はロックウール保温材又はモルタル詰めをする



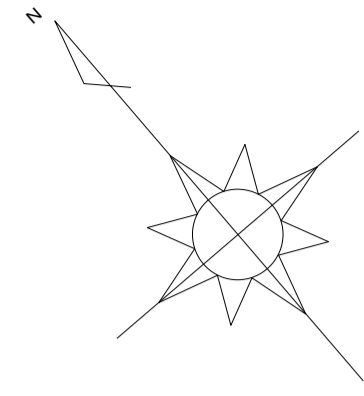
F) 追記事項
設備回共通特記事項
1・建築設備の構造については、H12 建告1388号に適合する事。
2・給水装置の構造及び材質については、水道法施行令第5条の基準に適合する事。
3・排水設備の設置及び構造については、下水道法第10条・下水道法施行令第8条の基準に適合する事。
4・建築設備の支持構造および緊結金物で腐食のおそれがある部分には 平12建告1388号第1 に従い防食措置を講じること（令129条の2の4第2号）
5・配管設備の構造は 平12建告1388号第4の規定に従う（令129条の2の4第2号）
6・配管・風道が 令112条15項に規定する防火区画および 令114条に規定する界壁、防火上主要な間仕切壁または隔壁を貫通する場合は、モルタルまたはロックウールを充填すること（令112条16項、昭48建告2565号、昭49建告1579号、平12建告1376・1377号）
7・給水装置については水道法施行令第5条、給水装置の構造および材質の基準に関する省令の規定に従う（水道法16条、給水装置の構造および材料の基準に関する省令）
8・排水設備の構造は下水道法10条3項および同法施工令第8条の規定に従う（下水道法施工令第8条に基づく条例）
9・ガスおよび換気設備は、液化石油ガスの保安の確保および取引の適正化に関する法律施行規則44条の規定に従う（液化石油ガスの保安の確保および取引の適正化に関する法律38条の2）
10・電気設備は、電気技術基準に関する省令に定める工法により設ける（法32条、電気事業法39条1項・56条1項、電気設備に関する技術基準を定める省令）
11・火を使用する設備またはその使用に際し火災の発生のおそれのある設備の位置、構造は火災予防条例の規定に従う（消防法9条）
12・消防用設備などは、消防法17条の規定に従い設置する（消防法施行令第2章、消防法17条2項に基づく条例）
13・水道法16条・ガス事業法40条の4・液化ガス38条の2により適切な施工を行うこと。
14・給水排水その他の配管設備の設置及び構造について、施工令第129条の2の5各項、各号及び関係告示による。
15・排水のための配管設備の容量及びその算定方法並びに傾斜
■ 排水負荷単位法
□ 定常流量法（SHASE S206-2000）
□ その他
※配管の傾斜は有効な数値を確保するものとする。
16・給水管に講じたウォーターハンマー防止のための処置
■ 流速を小さくする。
□ ウォーターハンマー防止器を設置する。
□ 排水ポンプ出口に水撃防止型逆止弁を使用する。
□ その他

G) 特記事項
● 地中埋設の銅管類は防食処理を行う。またコンクリート貫通箇所はプラスチックテープを巻きモルタル埋めとする。
● 建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は共仕による。
○ 冷暖房・給湯設備における試運転用油はオイルタンクの1/3程度とする。
○ 埋設配管において、深さ1.5m以上の施工に関しては、山止め工事を行う。
● 既設建物等のはつり穴あけに関しては、ダイヤモンドカッターを使用する。
● 本工事で別途及び支給機器の配管等の接続工事、機器調整はすべて本工事とする。
● 屋外上中埋設配管に関しては、埋設標示テープ、標示ピン及び標示杭を設ける。
● 機械設備工事範囲内の電気設備工事は、全て別途電気設備工事仕様にて施工する。
○ 新設工事以外の既設工事部分については、既設内容、取り合いを良く調査して既存施設の機能を低下せめてはならない。
● なお当該工事に於いては、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督員の指示はり本工事で迂回等の工事を行う。
○ また撤去工事は既設配管の行き先を確認したうえで安全に処理する。
● 防火区画、用途区画貫通に関しては建築基準法施行令第129条の2の2第1項7号に基づき区画貫通する管は、貫通前後1mを不燃材で遮るが建設省告示3183号により完全に施工する
● 防火、防煙ダンパー類は、(財)日本建築センターの防災認定マークを貼付されたものとする。
○ 配管埋設標準深さは 一般地 GL-300mm 車両道路 GL-750mm 公道 GL-1200mm とする。
● 給水配管の接合剤は、上水道用接合剤とする。
● 排水管の曲がり部は大曲がりエルボを使用し通水をよくする。
○ 3階以上の建物に関する排水管には、各階毎に満水試験継手を設ける。
○ 居室の天井、壁を通る排水管で排水音の発生する恐れのある箇所には防音シート巻巻施す。
● コンクリート製会所、汚水槽、浄化槽との硬質塩化ビニール管の接続部は、砂付き加工の工場製品を使用し漏水防止を図る。
○ 埋設で合成樹脂被覆鋼管の接続は、合成樹脂被覆メカ継手、サービスコックは合成樹脂被覆ボールバルブとする。
● 水栓類は節水コマ付き、フラッシュバルブは節水型とする。なお管末屋外水栓は凍 結防止水栓とする。
○ LPGの場合には 親メーター 自動切替弁 転倒防止鎖
○ 本工事はガス事業法または、高圧ガス取締法に準じて施工を行う。液化石油ガスの各種検査は、供給者又はLPGガス保安センターの検査を受け合格すること。
○ プロパンガス設備工事の施工者は、特定液化石油ガス設備工事業者であり、作業者は液化石油ガス設備士とする。
○ 配管には空気溜まりのないように施工し、図示以外で施工上必要な箇所には空気めき弁を取り付ける。
○ 配管の膨張伸縮の途がしが必要な箇所には原則としてペローズ型伸縮継手を取り付けの。
○ 所轄消防署と充分協議のうえ、法的に支障のないよう施工を行う。
● 凍結（屋外等）の恐れがある箇所においては保温を行うか水抜き配管を施工する。
○ 屋内消火栓箱には消火ポンプ運転表示灯を取付ける。
○ 風量測定可能な箇所には測定口を監督員と協議の上取り付ける。
○ 外壁ガラリに直接取り付けけるチャンパー類にはドレン抜を設ける。
○ チャンパーには点検口を設ける（断熱仕様）
● 送風機取付については、防音、防塵に注意して施工し、必要な箇所には防音、防振 器具を設ける事。
○ 全熱交換ユニットにおける本体から外壁までの給気及び排気ダクトには防露工事を行う。
● 排気ダクトの外壁から1m以内及び給気ダクトには防露工事を行う。
○ 多湿箇所及び多湿箇所を通過するダクトは塩ビ製とする。
○ 医療ガス設備に関しては、厚生省保健医療設備機械設備共通仕様準ずる。
○ 住戸内の給水・給湯ガス配管はポリブチン管を使用しさや管ヘッダー方式により施工 する。
○ また、得末配管の入れ替え交換や接続が容易に行える様施工する事。
○ 配管等の防火区画貫通の防火措置工法は、220号特例基準に準拠し、防災（BCJ）認定品及び工法を用いること。
○ 総合調整
○ 下記項目の総合調整を行うものとし調整時期、日程、人員、安全対策、調整方法等をまとめた実施計画書を作成し測定をおこなうものとし、結果を記録し提出のこと。
A. 測定及び調整
(1) 個別機器の試運転調整・(2) 風量の調整及び測定・(4) 室温の測定・(5) 水量調整、調整、測定
(5) 騒音、振動
B. 調整後の確認
(1) 異常音・(2) 設計値との最終確認
C. 調整結果の記録

I) 工事区分 ※別紙参照	建 築	電 気	機 械	別 途
適用 工 事 項 目				
● 1) 配管、衛生器具、換気扇、ダクト等スリーブ、箱入れ工事	○	○	○	○
○ 2) 同上構造体鉄筋補強工事	○	○	○	○
● 3) 外壁貫通部分の防水処理工事	○	○	○	○
● 4) 配管等穴開け、はつり部分の仕上げ工事	●	○	○	○
● 5) 埋込壁類、埋込機器類等天井、壁ボード開口工事	○	○	●	○
● 6) 同上下地補強工事	○	○	○	○
● 7) 天井、壁、床に必要な点検口取付工事	●	○	○	○
○ 8) 設備機器基礎 空調機器類及び床暖房熱源機の基礎工事	○	○	○	○
○ 9) “ ” 水槽類及び業務用エコキュートの基礎工事	○	○	○	○
○ 10) 上水道引込本管接続工事	○	○	○	○
○ 11) ガス引込本管接続工事	○	○	○	○
○ 12) 公共下水道接続工事	○	○	○	○
○ 13) 雨水排水工事	○	○	○	○
○ 14) 業務用厨房器具取付工事	○	○	○	○
○ 15) 同上配管接続工事	○	○	○	○
○ 16) 洗面カウンター工事	○	○	○	○
○ 17) はり込洗濯機配管接続工事	○	○	○	○
○ 18) 化粧鏡	○	○	○	○
○ 19) 洗濯機パン供給、取付工事	○	○	○	○
○ 20) ユニットシャワー供給、設置工事	○	○	○	○
○ 21) ユニットバス配管接続工事	○	○	○	○
○ 22) ガス給湯機リモコン取付工事	○	○	○	○
○ 23) 同上下リモコン用配管工事	○	○	○	○
○ 24) 同上リモコン配線接続工事	○	○	○	○
○ 25) 給排水消火等 ポンプユニット制御盤1次側電源工事	○	○	○	○
○ 26) 同上ポンプユニット制御盤2次側電気工事	○	○	○	○
○ 27) 同上ポンプユニット警報回路2次側電気工事	○	○	○	○
○ 28) 液面電極棒取付及び液面調整工事	○	○	○	○
○ 29) 換気扇取付工事	○	○	○	○
● 30) 換気扇供給、取付工事	○	○	○	●
○ 31) 同上用温度スイッチ供給取付工事	○	○	○	○
○ 32) OAGラリ、排気ガラリ等取付工事	○	○	○	○
○ 33) ドアガラリ取付工事	○	○	○	○
○ 34) クーラー配管スリーブ、カバープレート取付工事	○	○	○	○
○ 35) エアコン供給取付工事	○	○	○	○
○ 36) 空調機室内外機一次側電源供給	○	○	○	○
○ 37) 空調機室内外機間の制御用配線配管工事	○	○	○	○
○ 38) 空調室内機リモコンスイッチ取付工事	○	○	○	○
○ 39) 空調室内機リモコンスイッチ用配線配管工事	○	○	○	○
● 40) 土間コンクリート取り壊し、復旧	●	○	○	○
● 41) 同上仕上げ工事	●	○	○	○
● 42) 既設アスファルト舗装取り壊し、復旧	●	○	○	○
● 43) 配管改修・ダクト改修工事に必要な壁塗装、補修	○	○	○	●
○ 44) 浄化槽操作盤を含む2次側電気工事	○	○	○	○
○ 45) 浄化槽警報回路2次側電気工事	○	○	○	○
○ 46) 公共樹接続工事	○	○	○	○
○ 47) プロパン庫	○	○	○	○
● 48) 手すり	○	○	○	○
○ 49) ベビーシート・ベビーチェア	○	○	○	○
○ 50) シャワーハン	○	○	○	○
○ 51) キッチン	○	○	○	○
○ 52) 消火器	○	○	○	○

J) メーカーリスト					
本工事に使用する機器材料は、下記または同等以上の規格品を監督員の承諾を得て構のこと					
適用 機 材 名	製 造 者 名				
● 管材料及び継手	JISマーク又は水マーク表示品				
○ 石綿二層管	浅野スレート	昭和電工	トーフトミジ	三菱樹脂	
○ 着色ポリエチレン銅管	住友軽金属	古河電気工業			
● 弁 類	北沢バルブ	東洋バルブ	巴バルブ	日立金属	本山バルブ
○ 防振継手	トーフレ	東洋ゴム	日本ペロー工業	プリジストン	本山製作所
○ 防振架台	機器製造岡本	倉敷加工	東海ゴム工業	特許機器	
● 排水金物類	カネソウ	小島製作所	ダイドレ	JISマーク表示品	
○ マンホール類	カネソウ	小島製作所	ダイドレ	長谷川鑄工所	福西鑄物
● 衛生器具類	LIXIL	TOTO			
○ 厨房機器	伊丹厨房	大洋厨房	中西製作所	日本調理器	
○ 流し台類	クリナップ	サンウエーブ	妙がスタダ	ナステンレス	松下電器
○ 消火栓類	立売電機製作所	北浦製作所	岸本産業	消火栓機工	横井製作所
○ 量 水 器	愛知時計電機	大阪機工	金門製作所	リコー精機	
○ 油 量 計	オーバル機器	工技研究所	昭和機器	セイナシ製作所	
○ 計 器 類	愛知時計電機	金門製作所	工技研究所	日本フローセル	
○ 水 槽 類	積水77システム	プリジストン	森松工業	三菱樹脂	ベルテクノ
○ 受水槽付ポンプユニット	同上4社	荏原製作所	川本製作所	松下電工	
○ 製 缶 類	森松工業	ベルテクノ	島倉鉄工所	三成鉄工	平川鉄工所
○ グリーストラップ	カネソウ	下田機工	ダイドレ	ホーコス	
○ 湯 沸 器	バーバス	ノーリツ	ハロマ	リンナイ	
○ バルク貯槽	伊藤工機	富士工機	矢崎総業		
○ ガスコック類	大阪ガス	藤井合金			
○ 浄 化 槽	INAX	クボタ	ダイキ	ベスト	
○ 濾 過 機	理化学	成 研	富士濾水機	東西化学	
○ ヒートポンプエアコン	三菱重工				
○ ガスヒートポンプエアコン	パナソニック	ヤンマー	ダイキン工業		
○ 空 調 機	木村工機	三洋電機	昭和鉄工	新晃工業	ダイキン工業
○ ガスヒートポンプチラー	ヤンマー				
○ 吸収式冷温水機	荏原製作所	川崎冷熱工業	三洋電機	昭和鉄工	日立製作所
○ 冷 却 塔	矢崎総業	空研工業	信和産業	ダイキン工業	日本スピンドル
○ ボイラー	三菱樹脂				
○ ポンプ類	荏原製作所	川本製作所	テラルキョウトウ	日立製作所	
○ 送 風 機	荏原製作所	鎌倉製作所	テラルキョウトウ	日立製作所	松下精工
● 換 気 扇	三菱電機	東 芝	日立製作所	松下電器	三菱電機
○ ダンパー類	空研工業	大東機工	フジモリ産業	丸光産業	
○ 吹出口・吸込口	空研工業	新晃工業	日産工業所	丸光産業	
○ 自動制御機器	鷺宮製作所	トキメック	山武ハネウエル	横河ジョンソン	
○ 雨水貯留槽					
○ 業務用エコキュート	三菱電機	前川製作所	巴商会	イトミック	
○ 床暖房	AAN同等メカ				
○ 消火設備	横井機責任施工				
○ 立形ルーフトップ空調機	木村工機(株)				
○ 誘引放射ユニット	木村工機(株)				

	工事番号・工事名	1相連敷449号	S-19708	図面の名称	作成年月日
		相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)		機械設備工事特記仕様書(2)	令和元年5月
	株式会社 日匠設計	管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二		縮尺(A1)	縮尺(A3)
	大阪本社 大阪府松原市明保1丁目3番12号 6階建設士 198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166				図面番号
					M-02



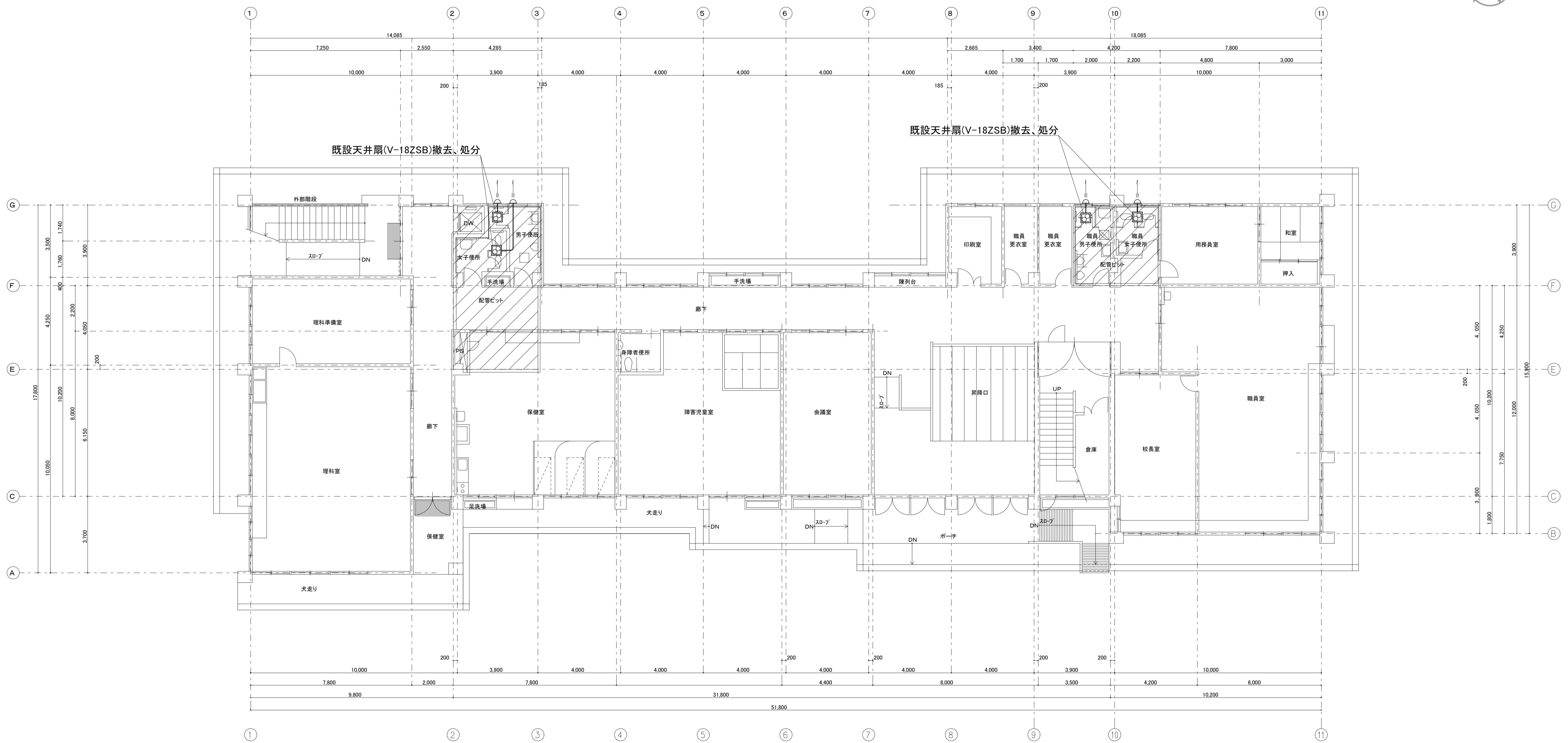
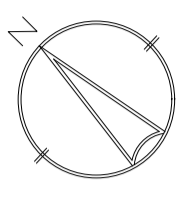
註記  
 今回改修建物ヲ示ス

配置図 1:300

国道163号線

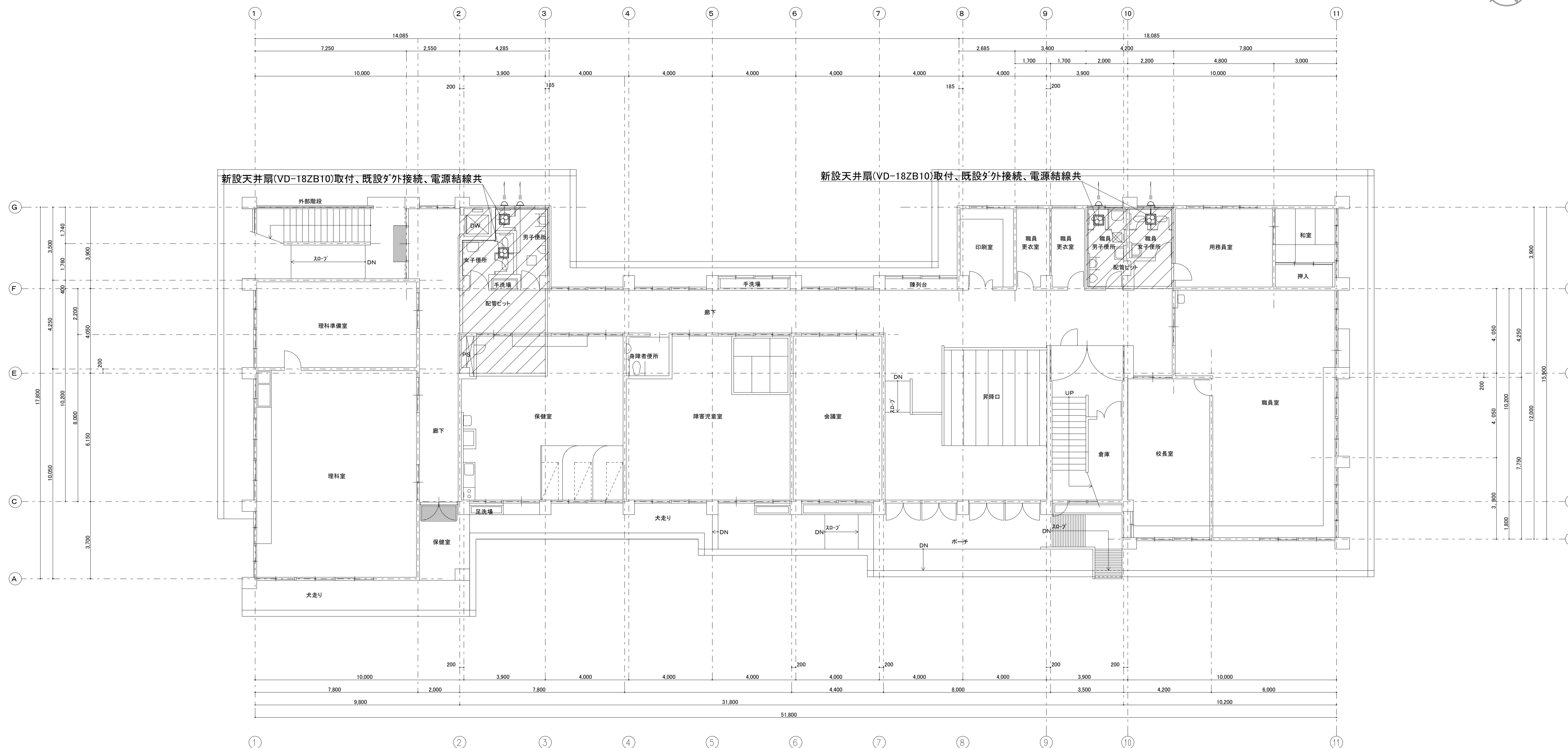
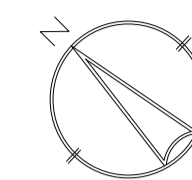
工事番号・工事名 1相連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)		S-19708	図面の名称	作成年月日
株式会社 日匠設計 <small>大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 総務課 198531号 澤田 耕一          TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931          滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良          TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166</small>		管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	配置図	令和元年5月
			縮尺(A1)	縮尺(A3)
			1:300	1:600
				図面番号
				M-03





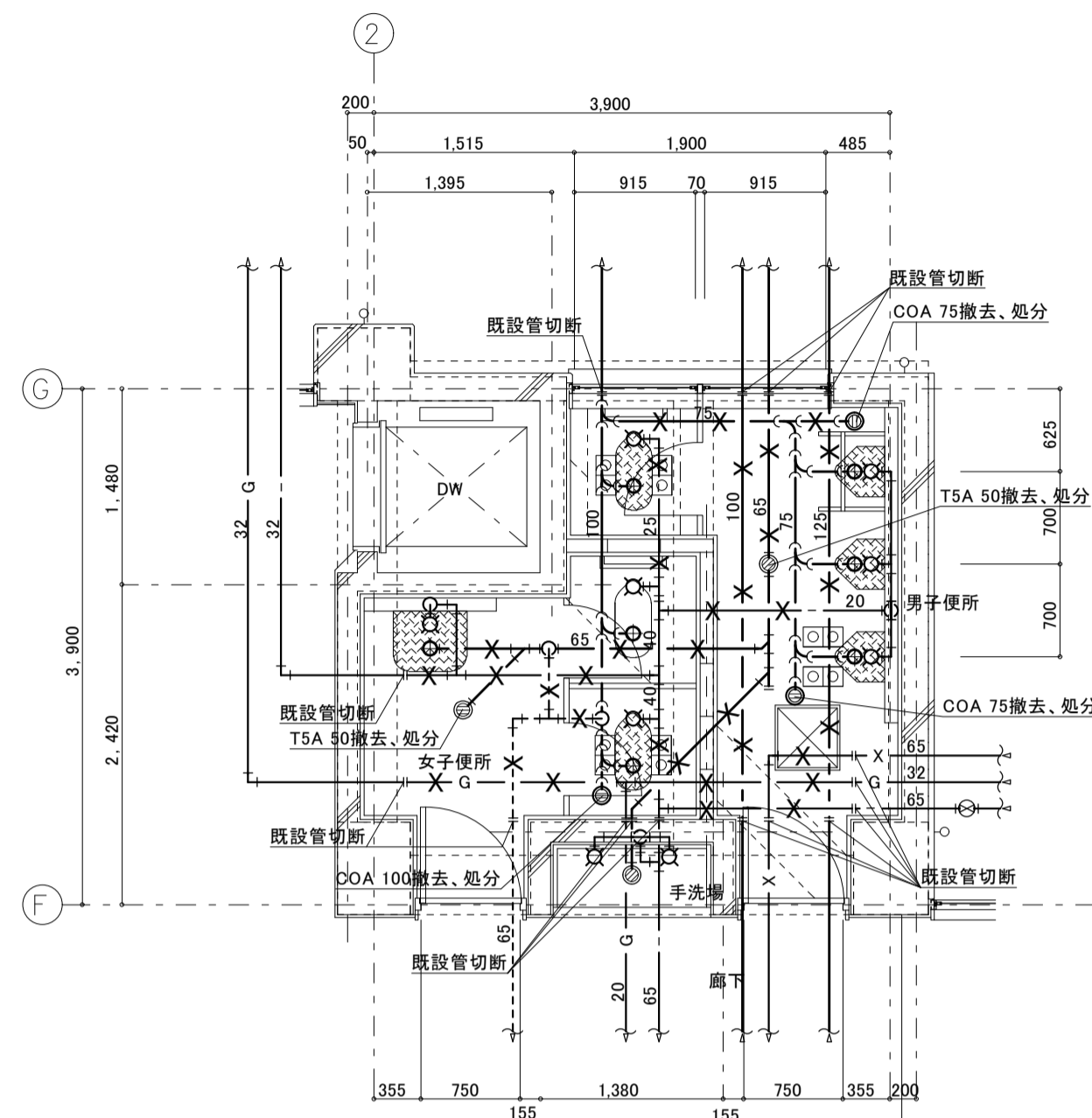
現況 1 階平面図 1: 100

工事番号・工事名	1相連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)	S-19708	図面の名称	現況1階平面図	作成年月日	令和元年5月
株式会社 日匠設計	大坂本社 大坂府松原市同保1丁目3番12号 一級建築士198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号	M-04
			1:100	1:200		



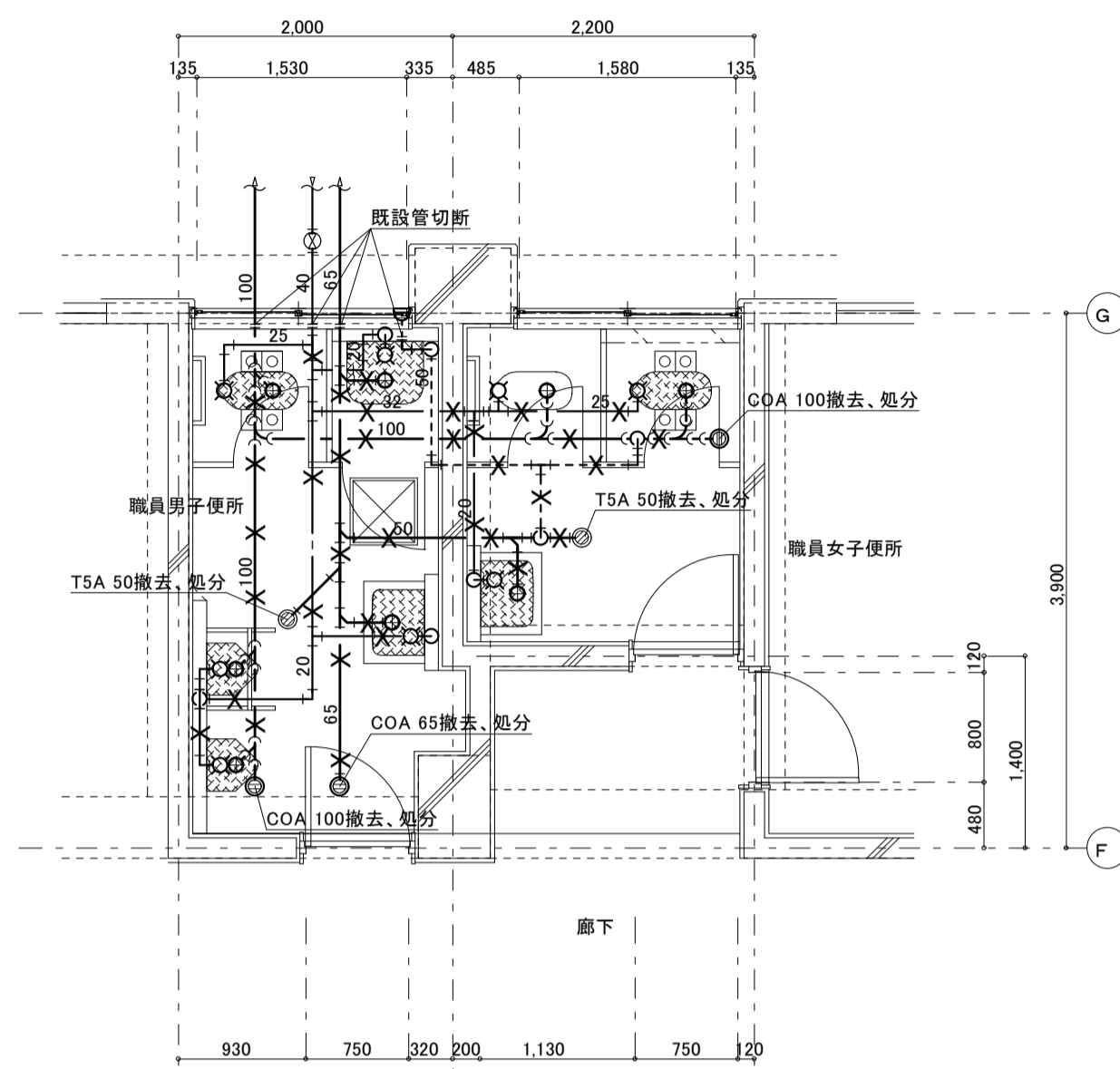
改修 1 階平面図 1: 100

工事番号・工事名	1相連教449号 相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事 (笠置小学校第2期)	S-19708	図面の名称	改修1階平面図	作成年月日	令和元年5月
株式会社 日匠設計	大坂本社 大坂府松原市同保1丁目3番12号 一級建築士198531号 澤田 耕一 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一級建築士 109825号 杉本 孝良 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166	管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二	縮尺(A1)	縮尺(A3)	図面番号	M-05
			1:100	1:200		



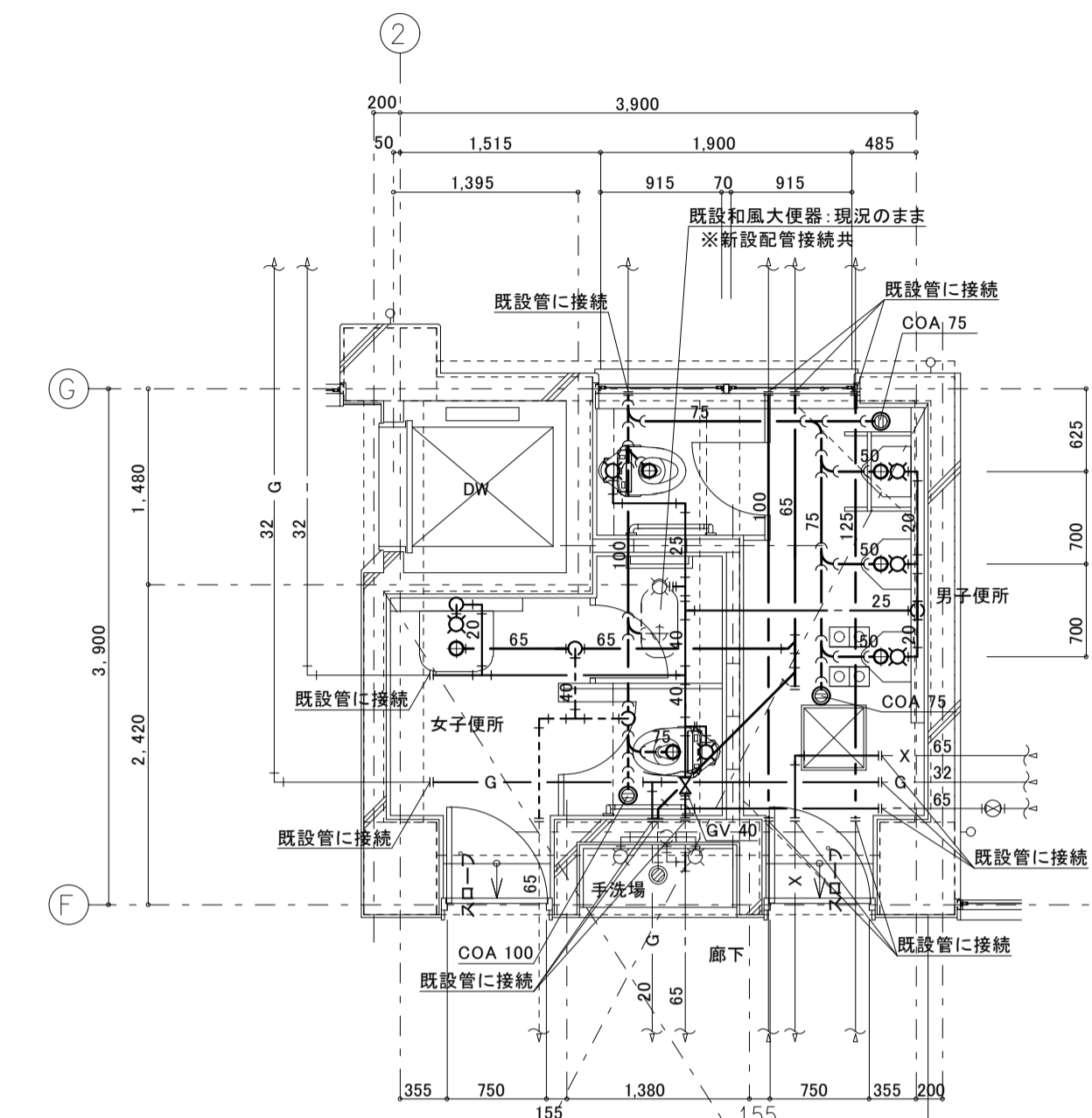
※1階は、ビット内配管とする。

現況1階平面詳細図 1:50



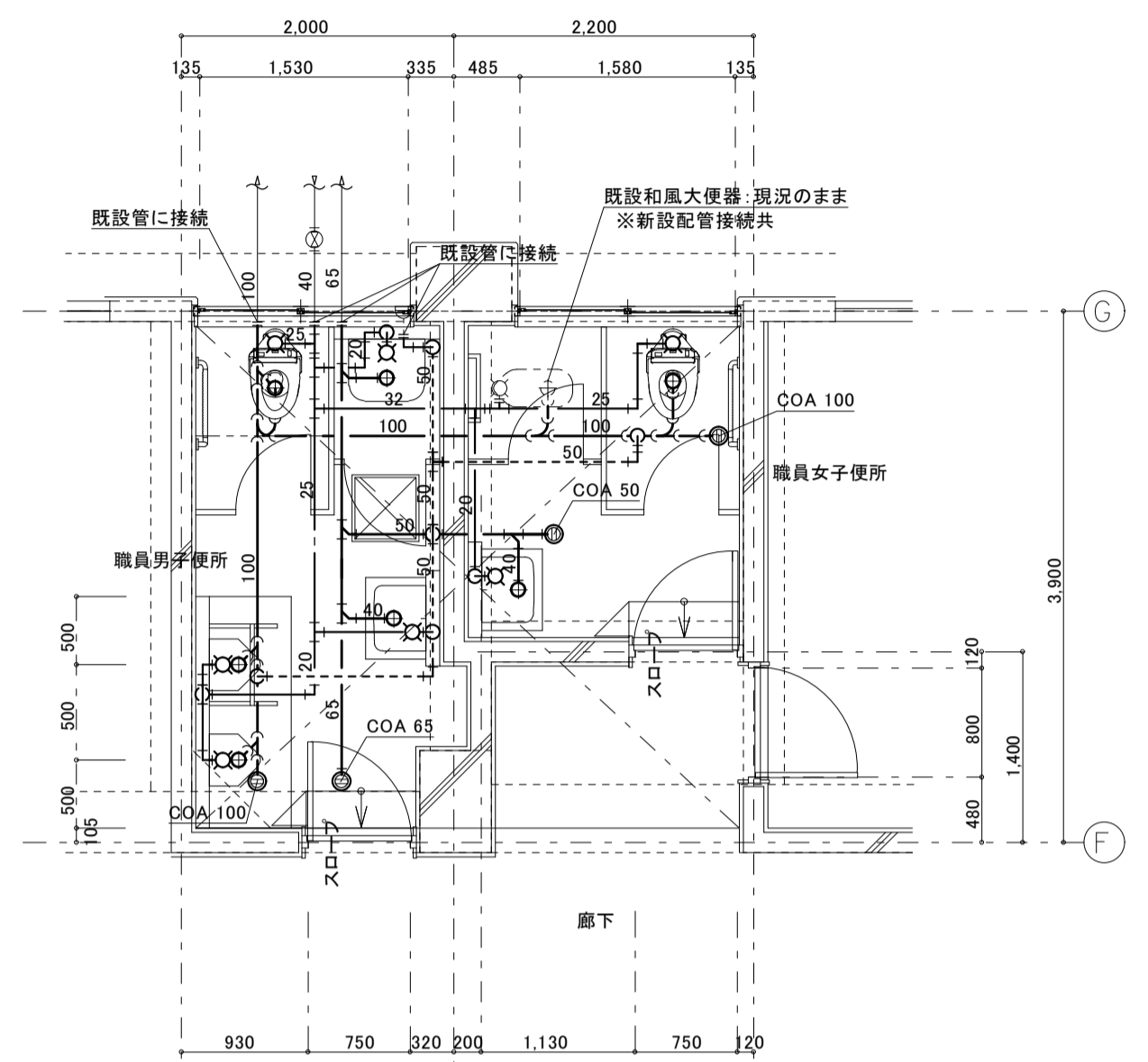
※1階は、ビット内配管とする。

現況1階平面詳細図 1:50



※1階は、ビット内配管とする。

改修1階平面詳細図 1:50



※1階は、ビット内配管とする。

改修1階平面詳細図 1:50

凡例

- 撤去器具を示す。
- 撤去配管を示す。

注記)  
 新規の梁貫通は、不可とする。  
 既設配管サイズ、ルートは参考とし現場確認の上、施工のこと。  
 配管改修に伴う壁、床貫通、補修は本工事とする。  
 貫通配管はコア抜き補修とする。  
 但し既存貫通穴を極力流用のこと。  
 コア抜きは、事前にX線探査を行なう事。

撤去衛生器具表

器具名	参考品番	男子便所	女子便所	女子職員便所	合計数量	備考
和風大便器(FV)	C375VF	1	1	1	4	
小便器(FV)	U308	3	2		5	
掃除用流し	SK22A	1	1		2	
洗面器	L-220D		1	1	2	
化粧鏡	TS119ASY5		1	1	2	

新設衛生器具表

器具名	参考品番	付属品、他一式共	男子便所	女子便所	女子職員便所	合計数量	備考
パブリックコンパクト便器 (掃除口付)	CFS494CHNS	TV560CP(フラッシュバルブ)・床)・TC300(普通便座)・YH701(棚付二連紙巻器)	1	1	1	4	
自動洗浄小便器 (自己発電・節水タイプ)	UFS900WR		3	2		5	
手すり	建築工事						
掃除用流し	SK22A	TK22(リムカバー)・T23AEQ20C(横水栓)・TN114(止水栓)・T9R(ハックハンガー)・HHO4060(樹脂アラカ)	1	1		2	
洗面器	L250D	TLG04101J(立水栓)・T6PM1(排水金具)・TL4CFU(止水栓)・TL250D(バックハンガー)		1	1	2	
化粧鏡	YM3545A			1	1	2	
和風大便器	既設のまま	配管接続:本工事	(1)	(1)	(2)		

工事番号・工事名 1相連教449号

S-19708

図面の名称

作成年月日

相楽東部広域連立小中学校トイレ改修工事  
(笠置小学校第2期)

現況・改修1階平面詳細図

令和元年5月

株式会社 日匠設計  
 大阪本社 大阪府松原市阿保1丁目3番12号 建築士 198531号 澤田 耕一  
 TEL (072)-331-3857 FAX (072)-334-5931  
 滋賀事務所 滋賀県湖南市中央2丁目95 一般建築士 109825号 杉本 孝良  
 TEL (0748)-72-1114 FAX (0748)-72-1166

管理建築士 澤田 耕一 検図 杉本 孝良 作図 大久保 晴二

縮尺(A1)

1:50

縮尺(A3)

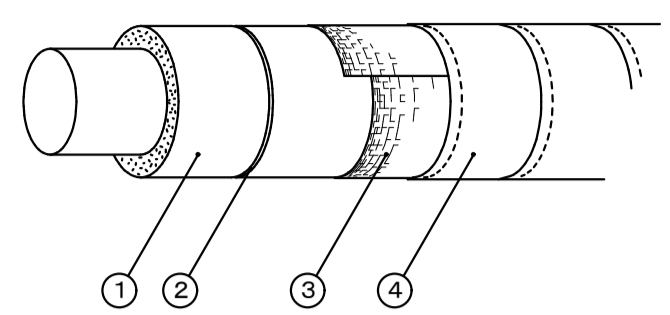
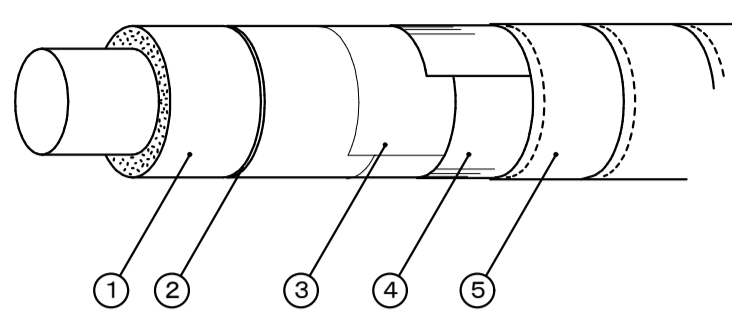
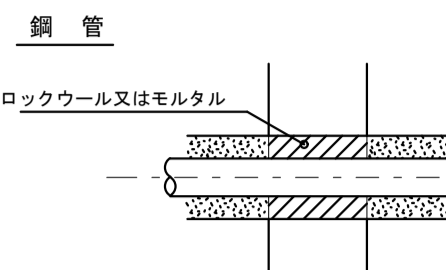
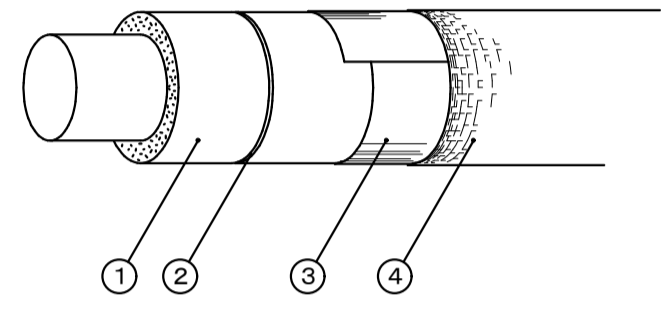
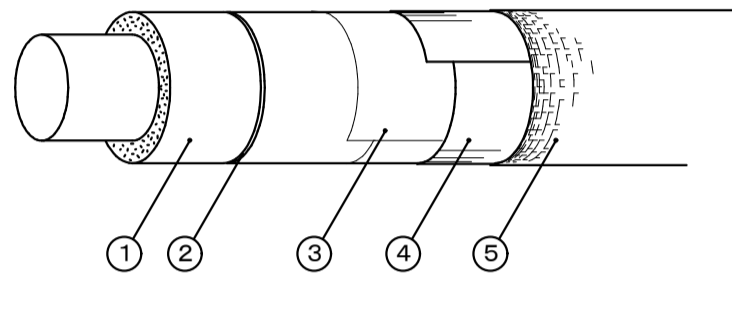
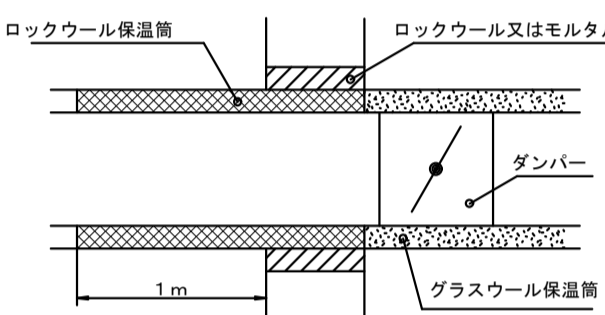
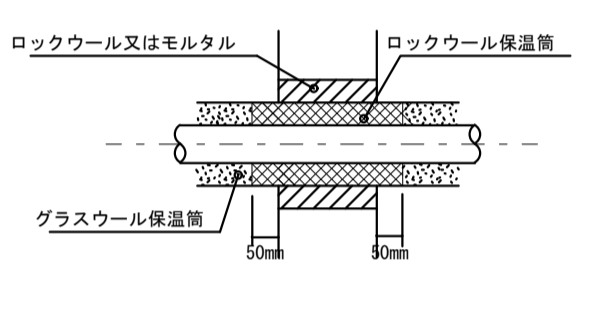
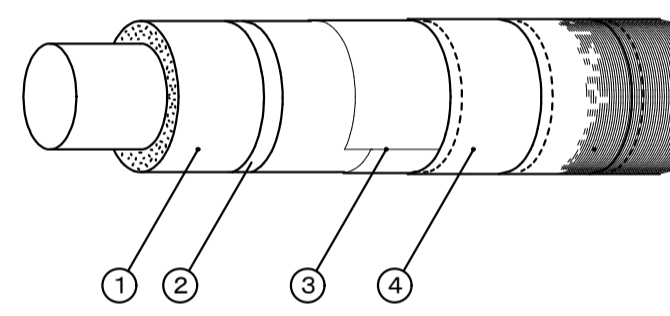
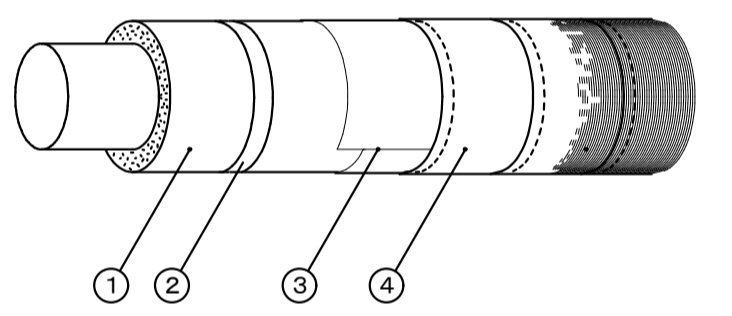
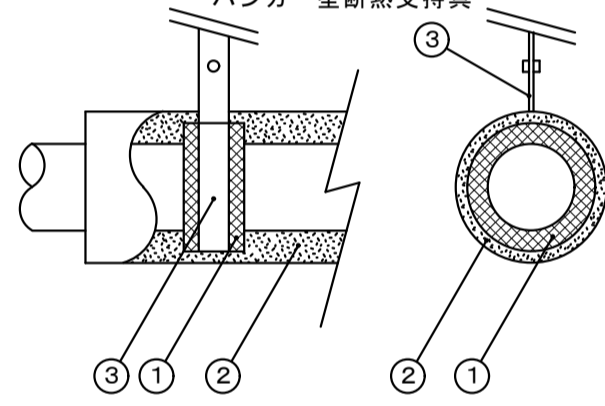
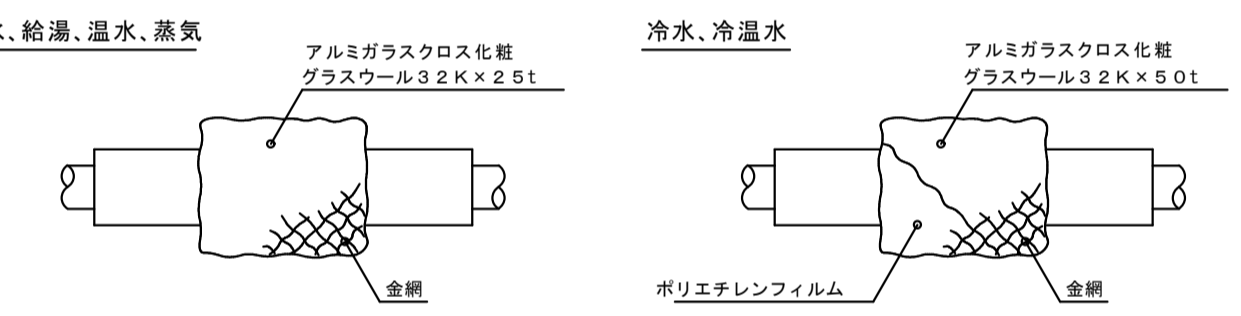
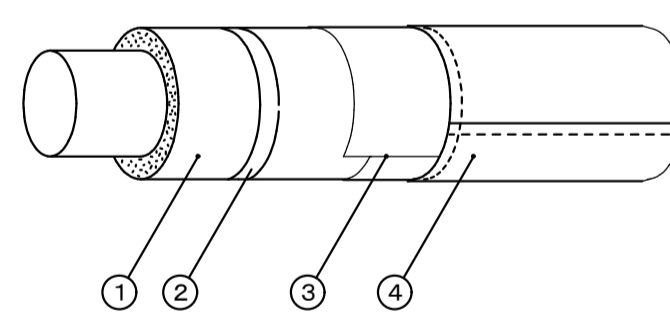
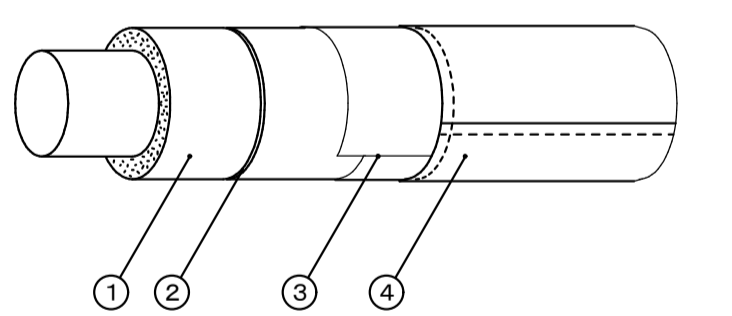
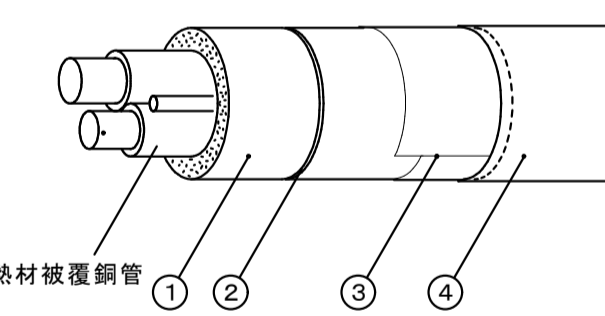
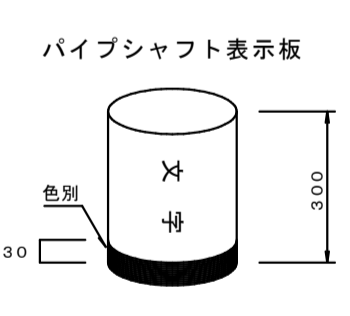
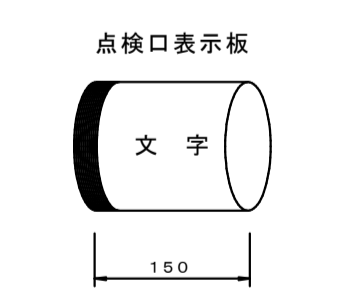
1:100

図面番号

M-06



保温施工標準図 No. 1

<p>給水・排水（通気） 空調ドレン管</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 グラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K以上</td> </tr> <tr> <td>2 鉄 線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 合成樹脂製カパー</td> <td></td> <td>板厚 0.3mm以上</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上	2 鉄 線	JIS G 3547		3 合成樹脂製カパー		板厚 0.3mm以上	<p>給湯・温水（膨張管含む）・蒸気・冷水・冷温水</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 グラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K以上</td> </tr> <tr> <td>2 鉄 線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 合成樹脂製カパー</td> <td></td> <td>厚さ 0.3mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する。</p>	材 料 名	規 格	備 考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上	2 鉄 線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 合成樹脂製カパー		厚さ 0.3mm以上	<p>保温材の厚さ</p> <p>単位：mm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び径</th> <th>15</th> <th>20</th> <th>25</th> <th>32</th> <th>40</th> <th>50</th> <th>65</th> <th>80</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>200</th> <th>250</th> <th>300</th> <th>参考使用区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">I</td> <td>R</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3">2.5</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">ロックウール</td> <td>給水管</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3">2.5</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">グラスウール</td> <td>排水管</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3">2.5</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">ポリスチレンフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">II</td> <td>R</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3">2.5</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">ロックウール</td> <td>温水管</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td colspan="3">2.0</td> <td colspan="3">2.5</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">グラスウール</td> <td>給湯管</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">III</td> <td>R</td> <td>2.5</td> <td colspan="2">3.0</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">ロックウール</td> <td>蒸気管</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>2.5</td> <td colspan="2">3.0</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">グラスウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">IV</td> <td>R</td> <td colspan="3">3.0</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">5.0</td> <td colspan="3">ロックウール</td> <td>冷温水管</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td colspan="3">3.0</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">5.0</td> <td colspan="3">グラスウール</td> <td>冷水管</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td colspan="3">3.0</td> <td colspan="3">4.0</td> <td colspan="3">5.0</td> <td colspan="3">ポリスチレンフォーム</td> <td>冷媒管</td> </tr> <tr> <td>V</td> <td colspan="14">2.5</td> <td rowspan="2">機器、排気筒、煙道、内貼</td> </tr> <tr> <td>VI</td> <td colspan="14">5.0</td> </tr> <tr> <td>VII</td> <td colspan="14">7.5</td> </tr> <tr> <td>VIII</td> <td colspan="14">5.0または2.5</td> <td>ダクト</td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は標準仕様書による。なお、高圧(0.1MP以上)の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温は、特記による。</p> <p>共通事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ポリスチレンフォーム保温筒は、1本(1m)につき2箇所以上粘着テープ2回巻きとする。</li> <li>テープ巻きその他の重なり幅は、原則として、テープ状の場合は15mm以上(ポリエチレンフィルムの場合は1/2重ね以上)、その他の場合は30mm以上とする。</li> <li>テープ巻きは、配管の下方より上向きに巻き上げる。アルミガラスクロス巻き等で、ずれおそれる場合には、粘着テープ等を用いてずれ止めを行う。</li> <li>合成樹脂製カパーの取付は、直管の合わせ幅は25mm以上とし、合わせ目を両面テープで貼り合わせた後、150mm以下のピッチで、合成樹脂製カパー用ピンで押さえる。</li> <li>屋内露出配管の保温見切り部分には菊座を取付ける。</li> <li>保温筒取り付けの鉄線巻きは1本(1m)につき2箇所2回巻きとする。</li> <li>鉄線巻きの継目部にはシールを行う。</li> <li>グラスウール保温筒、保温板の使用困難な場所は、保温帯または波形保温板を使用してもよい。</li> <li>ポリスチレンフォーム保温筒の使用困難な箇所は、ロックウール保温帯、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は波形保温板を使用してもよい。</li> <li>屋内露出の配管及びダクトの床貫通部は、その保温材保護のため、床面より少なくとも高さ150mmまでステンレス鋼板で被覆する。</li> <li>通気管の保温は排水分岐より100mmのみ保温を行う。</li> </ol>	呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分	I	R	2.0			2.5			4.0			ロックウール			給水管	G	2.0			2.5			4.0			グラスウール			排水管	P	2.0			2.5			4.0			ポリスチレンフォーム				II	R	2.0			2.5			4.0			ロックウール			温水管	G	2.0			2.5			4.0			グラスウール			給湯管	III	R	2.5	3.0		4.0			ロックウール			蒸気管	G	2.5	3.0		4.0			グラスウール				IV	R	3.0			4.0			5.0			ロックウール			冷温水管	G	3.0			4.0			5.0			グラスウール			冷水管	P	3.0			4.0			5.0			ポリスチレンフォーム			冷媒管	V	2.5														機器、排気筒、煙道、内貼	VI	5.0														VII	7.5														VIII	5.0または2.5														ダクト	<p>防火区画貫通箇所施工要領</p> <p>《給排水管》</p> <p>1、鋼管の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管径に関係なく通常の保温工事でよい。</li> <li>区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。</li> </ul>  <p>《VP管》</p> <p>【最上階4階まで 1時間耐火】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 12.5mm以上は鋼管または大臣認定の耐火二層管を使用する。</li> <li>※ 100mmには0.5t垂鉛鉄板を前後1m巻くこと。</li> <li>保温は保温材がポリスチレンフォーム保温筒の場合はロックウール保温帯2.5tを鉄線にて取り付ける。</li> <li>区画貫通箇所はロックウール材又はモルタル詰めを行う。</li> <li>鉄板は区画貫通箇所を通して、前後1m管材の上に巻きその上に保温を行う。</li> <li>※ 7.5mm以下は鉄板巻き不要である。</li> <li>保温材はポリスチレンフォーム保温筒でよい、ただし貫通箇所はロックウール保温材又はモルタル詰めを行う。</li> </ul> <p>【5階～最上階14階まで 2時間耐火】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 上記1時間耐火の管径より1ランク下げた管径を代入する。</li> </ul> <p>VP管7.5A以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温筒又はグラスウール保温筒を使用してはけない。</p>
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																																																				
2 鉄 線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																					
3 合成樹脂製カパー		板厚 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																																																				
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K以上																																																																																																																																																																																																																																																				
2 鉄 線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																					
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																				
4 合成樹脂製カパー		厚さ 0.3mm以上																																																																																																																																																																																																																																																				
呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	参考使用区分																																																																																																																																																																																																																																							
I	R	2.0			2.5			4.0			ロックウール			給水管																																																																																																																																																																																																																																								
	G	2.0			2.5			4.0			グラスウール			排水管																																																																																																																																																																																																																																								
	P	2.0			2.5			4.0			ポリスチレンフォーム																																																																																																																																																																																																																																											
II	R	2.0			2.5			4.0			ロックウール			温水管																																																																																																																																																																																																																																								
	G	2.0			2.5			4.0			グラスウール			給湯管																																																																																																																																																																																																																																								
III	R	2.5	3.0		4.0			ロックウール			蒸気管																																																																																																																																																																																																																																											
	G	2.5	3.0		4.0			グラスウール																																																																																																																																																																																																																																														
IV	R	3.0			4.0			5.0			ロックウール			冷温水管																																																																																																																																																																																																																																								
	G	3.0			4.0			5.0			グラスウール			冷水管																																																																																																																																																																																																																																								
	P	3.0			4.0			5.0			ポリスチレンフォーム			冷媒管																																																																																																																																																																																																																																								
V	2.5														機器、排気筒、煙道、内貼																																																																																																																																																																																																																																							
VI	5.0																																																																																																																																																																																																																																																					
VII	7.5																																																																																																																																																																																																																																																					
VIII	5.0または2.5														ダクト																																																																																																																																																																																																																																							
<p>機械室、書庫、倉庫（周囲の天井内を含む）</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 グラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄 線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 原 紙</td> <td></td> <td>1㎡ 370g以上</td> </tr> <tr> <td>4 アルミガラスクロス</td> <td>JIS R 3414 EP18A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 原紙+アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧原紙を使用できる</p> <p>※ 天井、PS内の場合原紙を省略し、7&amp;#32;がラジエーター用保温筒+7&amp;#32;がラジエーター用テープ(幅50mm)とする。</p>	材 料 名	規 格	備 考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄 線	JIS G 3547		3 原 紙		1㎡ 370g以上	4 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A		 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 グラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄 線</td> <td>JIS G 3547</td> <td>線径 0.6mm</td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 原 紙</td> <td></td> <td>1㎡ 370g以上</td> </tr> <tr> <td>5 アルミガラスクロス</td> <td>JIS R 3414 EP18A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 給湯、温水、蒸気の場合はポリエチレンフィルムを省略する</p> <p>※ 原紙+アルミガラスクロスに替えアルミガラス化粧原紙を使用できる</p> <p>※ 天井、PS内の場合原紙を省略する</p> <p>※ 給湯・温水、蒸気配管の天井、PS内はアルミガラス化粧グラスウール保温筒+アルミガラスクロス粘着テープとする。</p>	材 料 名	規 格	備 考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄 線	JIS G 3547	線径 0.6mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 原 紙		1㎡ 370g以上	5 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A		<p>《ダクト》</p>  <p>《冷水、冷温水管》</p>  <p>VP管7.5A以下は鋼管と同じ貫通部分にポリスチレンフォーム保温筒又はグラスウール保温筒を使用してはけない。</p>																																																																																																																																																																																																																			
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																				
2 鉄 線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																					
3 原 紙		1㎡ 370g以上																																																																																																																																																																																																																																																				
4 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A																																																																																																																																																																																																																																																					
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																				
2 鉄 線	JIS G 3547	線径 0.6mm																																																																																																																																																																																																																																																				
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																				
4 原 紙		1㎡ 370g以上																																																																																																																																																																																																																																																				
5 アルミガラスクロス	JIS R 3414 EP18A																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>床下、暗渠内</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ポリスチレンフォーム保温筒</td> <td>JIS A 9511</td> <td>3号</td> </tr> <tr> <td>2 粘着ビニールテープ</td> <td>JIS Z 1525</td> <td>厚さ 0.2mm</td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 着色アルミガラスクロス</td> <td></td> <td>黒色</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 共同溝の保温の種別は特記による。</p> <p>※ 排水管、空調ドレン管で暗渠内(ピット内を含む)、最下階の床下配管及び耐火二層管は保温を行わない。</p>	材 料 名	規 格	備 考	1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号	2 粘着ビニールテープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス		黒色	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 グラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄 線</td> <td>JIS Z 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 着色アルミガラスクロス</td> <td></td> <td>黒色</td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄 線	JIS Z 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 着色アルミガラスクロス		黒色	<p>冷水・冷温水管の配管支持具</p> <p>ハンガー型断熱支持具</p>  <p>① 断熱支持具 ② グラスウール保温筒 ③ バンド</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>T</th> <th>L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15A~25A</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>32A~150A</td> <td>30</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>200A</td> <td>30</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>250A~300A</td> <td>40</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 台型断熱材の厚さはハンガー型と同じとする。</p> <p>※ 台型の場合は護高品(既製品+10mm)を使用する。</p> <p>※ ハンガー型は蝶番式又は提灯型を使用する。</p> <p>単位：mm</p>	断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)		A	T	L	15A~25A	20	50	32A~150A	30	50	200A	30	100	250A~300A	40	100	<p>井フランジなどの保温</p>  <p>※ 給湯、温水、蒸気配管で室内及び暗渠内の伸縮継手、防震継手、フレキシブルジョイント及びフランジは保温を行わない。</p> <p>※ 蒸気、温水配管で室内及び暗渠内の各種装置廻りの配管は保温を行わない、ただし火傷の可能性がある場合は火傷防止をおこなう。</p> <p>※ 屋外は金網の下にポリエチレンフィルムを巻く。</p> <p>※ 給水、給湯、冷水、冷温水用の露出配管で、保温を行う6.5A以上の井、ストレーナー等はビスなどにより容易に脱着できる金属製カパーによる外装を施す。</p> <p>(室内外共：カラー垂鉛鉄板またはステンレス鋼板)</p>																																																																																																																																																																																																				
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号																																																																																																																																																																																																																																																				
2 粘着ビニールテープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm																																																																																																																																																																																																																																																				
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																				
4 着色アルミガラスクロス		黒色																																																																																																																																																																																																																																																				
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																				
2 鉄 線	JIS Z 3547																																																																																																																																																																																																																																																					
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																				
4 着色アルミガラスクロス		黒色																																																																																																																																																																																																																																																				
断熱支持具の厚さ(T)と長さ(L)																																																																																																																																																																																																																																																						
A	T	L																																																																																																																																																																																																																																																				
15A~25A	20	50																																																																																																																																																																																																																																																				
32A~150A	30	50																																																																																																																																																																																																																																																				
200A	30	100																																																																																																																																																																																																																																																				
250A~300A	40	100																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>浴室・厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ポリスチレンフォーム保温筒</td> <td>JIS A 9511</td> <td>3号</td> </tr> <tr> <td>2 粘着テープ</td> <td>JIS Z 1525</td> <td>厚さ 0.2mm以上</td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 厨房、浴室等の多湿箇所はステンレス鋼板とする。</p> <p>※ 排水管、空調ドレン管で屋外露出及び耐火二層管は保温を行わない。</p> <p>※ 特記以外はこの施工標準図による。</p> <p>※ 設計図書に明記の無い場合又は疑いが生じた場合は監督員と協議する。</p> <p>※ 現場の取まり、取り合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合は監督員と協議する。</p> <p>※ 詳細は国土交通省機械設備工事標準仕様書及び同施工監理指針に基づく。</p>	材 料 名	規 格	備 考	1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号	2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上	3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板	JIS G 4305		 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 グラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K</td> </tr> <tr> <td>2 鉄 線</td> <td>JIS G 3547</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材 料 名	規 格	備 考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K	2 鉄 線	JIS G 3547		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 ステンレス鋼板	JIS G 4305		<p>冷媒配管（全ての施工場所）</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>規 格</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 グラスウール保温筒</td> <td>JIS A 9504</td> <td>40K 20mm厚</td> </tr> <tr> <td>2 鉄 線</td> <td>JIS G 3532</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 ポリエチレンフィルム</td> <td>JIS Z 1702</td> <td>厚さ 0.05mm</td> </tr> <tr> <td>4 外装材は冷温水に準じる</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ただし、天井内、PS内、空隙壁内、床下は上記に代えて断熱材被覆鋼管(保温厚20mm)とする。</p>	材 料 名	規 格	備 考	1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K 20mm厚	2 鉄 線	JIS G 3532		3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm	4 外装材は冷温水に準じる			<p>配管先表示板</p> <p>パイプシャフト表示板</p>  <p>室内、PS内、点検口部分の配管には配管表示板を取り付ける。この表示板には、流体名称、矢印、色別バンド書き込む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>管 種</th> <th>色</th> <th>管 種</th> <th>色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給水管</td> <td>青</td> <td>温水管</td> <td>レンガ色</td> </tr> <tr> <td>排水管</td> <td>黄</td> <td>冷温水管</td> <td>濃青/レンガ色</td> </tr> <tr> <td>井水管</td> <td>黄</td> <td>蒸気管</td> <td>銀白色</td> </tr> <tr> <td>雑排水管</td> <td>茶</td> <td>冷却水管</td> <td>淡水色</td> </tr> <tr> <td>汚水管</td> <td>茶</td> <td>膨張管</td> <td>レンガ色 2本</td> </tr> <tr> <td>通気管</td> <td>茶の縦線</td> <td>油 管</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>消火管</td> <td>赤</td> <td>空気管</td> <td>白</td> </tr> <tr> <td>ガス管</td> <td>緑</td> <td>給湯管</td> <td>肌色</td> </tr> <tr> <td>冷水管</td> <td>濃青色</td> <td>冷媒管</td> <td>緑 2本</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 表示板の材質は塩化ビニール樹脂製とする。</p> <p>※ 屋内外露出の配管名表示部分には、縦書きの場合は下部、横書きの場合は左側に色別バンドを取り付ける。</p> <p>点検口表示板</p> 	管 種	色	管 種	色	給水管	青	温水管	レンガ色	排水管	黄	冷温水管	濃青/レンガ色	井水管	黄	蒸気管	銀白色	雑排水管	茶	冷却水管	淡水色	汚水管	茶	膨張管	レンガ色 2本	通気管	茶の縦線	油 管	黄	消火管	赤	空気管	白	ガス管	緑	給湯管	肌色	冷水管	濃青色	冷媒管	緑 2本																																																																																																																																																														
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 ポリスチレンフォーム保温筒	JIS A 9511	3号																																																																																																																																																																																																																																																				
2 粘着テープ	JIS Z 1525	厚さ 0.2mm以上																																																																																																																																																																																																																																																				
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																				
4 ステンレス鋼板	JIS G 4305																																																																																																																																																																																																																																																					
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K																																																																																																																																																																																																																																																				
2 鉄 線	JIS G 3547																																																																																																																																																																																																																																																					
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																				
4 ステンレス鋼板	JIS G 4305																																																																																																																																																																																																																																																					
材 料 名	規 格	備 考																																																																																																																																																																																																																																																				
1 グラスウール保温筒	JIS A 9504	40K 20mm厚																																																																																																																																																																																																																																																				
2 鉄 線	JIS G 3532																																																																																																																																																																																																																																																					
3 ポリエチレンフィルム	JIS Z 1702	厚さ 0.05mm																																																																																																																																																																																																																																																				
4 外装材は冷温水に準じる																																																																																																																																																																																																																																																						
管 種	色	管 種	色																																																																																																																																																																																																																																																			
給水管	青	温水管	レンガ色																																																																																																																																																																																																																																																			
排水管	黄	冷温水管	濃青/レンガ色																																																																																																																																																																																																																																																			
井水管	黄	蒸気管	銀白色																																																																																																																																																																																																																																																			
雑排水管	茶	冷却水管	淡水色																																																																																																																																																																																																																																																			
汚水管	茶	膨張管	レンガ色 2本																																																																																																																																																																																																																																																			
通気管	茶の縦線	油 管	黄																																																																																																																																																																																																																																																			
消火管	赤	空気管	白																																																																																																																																																																																																																																																			
ガス管	緑	給湯管	肌色																																																																																																																																																																																																																																																			
冷水管	濃青色	冷媒管	緑 2本																																																																																																																																																																																																																																																			